

(4) 協議会・幹事会並びに各部会の令和6年度活動報告
及び令和7年度活動計画について

兵庫県がん診療連携協議会・幹事会関連

項 目	内 容
令和6年度の活動報告	○ 令和 6年 4月11日(木) 第19回 兵庫県がん診療連携協議会 (Web開催) ○ 令和 6年 6月 6日(木) 第1回幹事会 (Web開催) ○ 令和 7年 2月 13日(木) 第2回幹事会 (Web開催) ○ 令和 6年10月 19日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第14回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場 所：兵庫県看護協会会館 2階「ハーモニーホール」 (会場71名、Web 60名 計131名 参加) テーマ：「がんと診断されたあなたに ～患者力を高めるには～」 開催方法：現地会場とWebのハイブリット方式 担当病院：兵庫医科大学病院
令和7年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ 令和 7年 4月 17日(木) 第20回 兵庫県がん診療連携協議会 (Web開催) ○ 令和 7年 6月 19日(木) 第1回幹事会 (Web開催) ○ 第2回幹事会は、日程、開催方式 未定 ○ 令和 7年 11月 8日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第15回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場 所：神戸市教育会館 6階「大ホール」 テーマ：(ACPに関する内容) 開催方法：現地会場とWebのハイブリット方式(予定) 担当病院：神戸市立医療センター中央市民病院

兵庫県がん診療連携協議会「研修・教育」部会関連

項 目	内 容
令和6年度の活動報告	○がん看護コアナース育成セミナーの開催（兵庫県立がんセンター） テーマ：「不眠は夜の問題ではない！」 日 程：令和 6年11月22日・29日（講義）、12月 6日（事例検討会） 希望者を対象に1日のみ体験研修を県立がんセンターで実施（11月11日～15日） 開催方式：講義・検討会は Web開催（Zoom） 12名参加 ○セミナーの開催 ・研修・教育部会セミナー 令和 6年10月 5日（土） 神戸市教育会館 6階「大ホール」 テーマ：「消化器がんに対するロボット手術の現状と未来」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 23名、Web 37名 計 60名 参加） ・放射線セミナー 令和 6年10月12日（土） 神戸市教育会館 6階「大ホール」 テーマ：「直腸がんの診断と治療 ―update―」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 32名、Web 125名 計 157名 参加） ・検査セミナー 令和 6年12月14日（土） 神戸市教育会館 6階「大ホール」 テーマ：「見えない敵とどう戦うか～がんと微生物に対する両面作戦～」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 41名、Web 53名 計 94名 参加） ・薬剤師セミナー 令和 7年 2月 8日（土） 神戸市教育会館 6階「大ホール」 テーマ：「ICIによるirAE・薬剤師外来」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 22名、Web 236名 計 258名 参加） ○がん診療連携拠点病院を対象とする 「第9回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 令和6年11月30日（土） テーマ：「がん治療における妊孕性温存」 会 場：兵庫県立がんセンター（3チーム、13名参加） ○共催研究会・県民フォーラムなど ・第14回 ひょうご県民がんフォーラム 令和 6年10月19日（土） テーマ：「 がんと診断されたあなたに～患者力を高めるには～」 会 場：兵庫県看護協会会館 2階「ハーモニーホール」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 71名、Web 60名 計131名 参加） 担当施設：兵庫医科大学病院（持ち回り開催）
令和7年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○がん看護コアナース育成セミナーの開催（兵庫県立がんセンター） テーマ：「多様化するがん患者の一人ひとりの力を信じ、その力を引き出し、高める意思決定支援」 日 程：体験研修（希望者のみ）11月4日（火）～11月14日（金）のうち1日 講義・事例検討（各回単独の受講も可）11月21（金）、28日（金）、12月5日（金） 開催方式：体験研修は県立がんセンター、講義・事例検討はWeb開催 募集人数：30名 ○がん診療連携拠点病院を対象とする 「第10回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 令和7年秋頃 開催予定 テーマ、開催方式は未定 ○セミナーの開催 ・研修・教育部会セミナー 令和 7年10月11日（土） 神戸市教育会館6階「大ホール」 テーマ：「膵がんの診断と治療の最前線」 開催方式：現地会場とウェビナーによるハイブリット方式（予定） ・放射線セミナー 令和 7年10月25日（土） 神戸市教育会館6階「大ホール」 テーマ：「乳がんの診断と治療 ―update―」 開催方式：現地会場とウェビナーによるハイブリット方式（予定） ・検査セミナー 令和7年12月6日（土）又は12月13日（土）で調整中 テーマ、開催方式は未定 ・薬剤師セミナー 日程、テーマ、開催方式等は未定 ○共催研究会・県民フォーラムなど ・第15回 ひょうご県民がんフォーラム 令和 7年11月 8日（土） テーマ：（ACPIに関する内容） 会 場：神戸市教育会館 6階「大ホール」（ハイブリット方式を予定） 担当施設：神戸市立医療センター中央市民病院（持ち回り開催）

《令和 6 年度 P D C A サイクル 実施計画・管理表》

令和 7 年 3 月 末日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容（計画）
研 修 ・ 教 育 部 会	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	1．最新の治療や専門的ながん看護、緩和ケアに関する研修を通し、がん医療の発展を担う人材を育成する必要がある。多施設から多くの看護師に参加していただけるよう、感染対策に留意しながらより研修効果の高い形態での研修を企画する必要がある。	○がん診療連携拠点病院として、「がん看護コアナース育成セミナー」をオンラインでの開催。加えて見学実習の希望者を受け入れる。研修テーマは毎年最新の治療法や看護が発信できる内容とする。 (1)「不眠は夜の問題ではない」をテーマに、講義とGWによる事例検討を3日間に分けて行う。 (2) 病院HPへの掲載や地域の拠点病院への発信など効果的な広報により参加者を募集する。 (3) 運営や講師・ファシリテーターについては、当院のCNSやCNを活用し、専門的関わり（困りごとの解決や支援方法の提案等）を行う。 (4) 研修申込み時に見学実習希望状況を確認し、希望者については希望部署の見学実習を1日受け入れる。	令和6年 11月～ 12月頃	○	達成	例年のオンラインでの開催に加え、希望者5名の見学実習を受け入れた。見学実習では研修生の希望部署（がん相談支援センター、緩和ケアセンター、地域医療連携室、看護外来）で体験研修を行った。参加者全員から「今後に役立つ有意義な内容だった」との回答を得た。 オンライン研修は11/22、29、12/6 の3日間開催した。院内1名を含む12名の応募があったが、欠席もあり全3回に参加した11名に修了書を交付した。第1回、第2回の講義には延べ26名の院内聴講生も参加した。参加者は最後まで熱心に講義を聴くことができおり時間配分は適切であったと評価する。第3回の事例検討では意見交換が活発になるまで少し時間を要したが、ファシリテーターの介入もあり最終的には具体策まで導き出すことができた。 以上より、参加者の看護実践能力の向上に役立つ研修会となったと評価する。	継続	今年度と同様に、希望者の見学実習(1日)と遠方や仕事終わりの参加のしやすさを考慮し、リモートによる3回構成の研修として開催する。 また、「意思決定支援」を題材に、AYA世代から高齢者までを対象に、意思決定支援の基本的な知識が習得できる構成とし、より多くのがん看護に携わる看護師が参加したいと思える研修企画とする。
		2．医療関係者の育成については、セミナーの開催などにより継続的に行う必要がある。	○がん診療連携拠点病院を対象とする研修会の開催 ・第9回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会 テーマ：「がん治療における妊孕性温存」 日程：未定（11月頃を予定） 開催方法：会場開催 ○セミナーの開催 (1) 研修・教育部会セミナー 令和6年10月5日 神戸市教育会館「大ホール」 テーマ：「消化器がんに対するロボット手術の現状と未来」 開催方法：ハイブリット方式 (2) 放射線セミナー 令和6年10月12日 神戸市教育会館「大ホール」 テーマ、開催方法は未定 (3) 検査セミナー 令和6年12月7日 ハイブリット方式で開催 会場、テーマは未定 (4) 薬剤師セミナー 令和7年1月18日又は2月8日 会場、テーマ、開催方法は未定	令和7年 3月	○	達成	医療従事者を対象としたセミナーや研修会を開催し、医療レベルの向上を図った。 ・第9回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会 11月30日、兵庫県立がんセンターで開催 3チーム、13名 テーマ：「がん治療における妊孕性温存」 ・研修・教育部会セミナー 10月5日 会場 23名、Web 37名、計 60名 参加 テーマ：「消化器がんに対するロボット手術の現状と未来」 ・放射線セミナー 10月12日 会場 32名、Web 125名、計 157名 参加 テーマ：「直腸がんの診断と治療 – update –」 ・検査セミナー 12月14日 会場 41名、Web 53名、計 94名 参加 テーマ：「見えない敵とどう戦うか ～ がんと微生物に対する両面作戦～」 ・薬剤師セミナー 2月8日 会場 22名、Web 236名、計 258名 参加 テーマ：「ICI による irAE・薬剤師外来」	継続	がん診療連携拠点病院、準じる病院、その他の医療機関に対して、引き続き積極的な参加を呼びかける。開催方式については、基本的にハイブリット（会場とWeb配信）開催を継続し、遠隔地からの参加を容易にしたい。 また、各アンケート結果等もふまえ、平日開催についても検討する。
		○ 県民フォーラムなどの開催 ・第14回 ひょうご県民がんフォーラム 令和 6年10月19日 兵庫県看護協会「ハーモニーホール」 テーマ、開催方法は「未定」 担当施設：兵庫医科大学病院	令和6年 11月	○	達成	県民へのがん治療への理解を深めるため、10月19日に開催した。テーマは「がんと診断されたあなたに ～患者力を高めるには～」、会場 71名、Web 60名、計 131名の参加があった。			
		○ 協議会との共催に同意が得られた研究会、懇話会、セミナーの共催及び後援名義の使用承認 https://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html に掲載	令和7年 3月	○	達成	地域で開催されるセミナーや研究会などの共催及び後援などを行った。 共催 2件、後援 3件	継続		

(注) 実施管理・区分欄の記入について
C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

《令和 7年度 P D C A サイクル 実施計画・管理表》

令和 7年 4月 1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容 (計画)
研 修 ・ 教 育 部 会	がん医療に携わる 専門的な医療従 事者の育成	1. がん医療・看護の均て ん化に取り組んでいる今、 最新のがん治療や専門的 ながん看護、緩和ケアに関 する研修を通し、更なるがん 医療・看護の発展を目指 す。そして、より専門的なが ん医療・看護に関する知識 やスキルを持った看護師を 育成する必要がある。	○ がん診療連携拠点病院として、「がん看護コアナース育成セミ ナー」をオンラインで開催。加えて、体験研修の希望者を受け入れ る。 がん治療は日々進化し、治療の選択肢が拡大している。一方 で、がん患者は多様化し、個人のニーズに即した意思決定支援は 難しく現場の看護師は日々困難さを感じている。よって、意思決定 支援をテーマとし、より多くの看護師の育成につながる企画とする。 昨年度に引き続き、3日間のWEBでの講義とGWの構成を基本 とし、希望者の体験研修をPRし、拡充を図る。受講できる日だけ 単日で受講したいという声もあるため、単日での参加も可能とし、 より多くの方が参加できる機会となるよう企画した。	令和7年 11月～ 12月頃					
		2. 医療関係者の育成に ついては、セミナーの開催な どにより継続的に行う必要 がある。	○ がん診療連携拠点病院を対象とする研修会の開催 ・ 第10回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会 テーマ：「（未定）」 秋頃開催予定 開催方法：未定 ○ セミナーの開催 (1) 研修・教育部会セミナー 令和7年10月11日(土) 神戸市教育会館「大ホール」 テーマ：「肺がんの診断と治療の最前線」 開催方法：ハイブリット方式 (2) 放射線セミナー 令和7年10月25日(土) 神戸市教育会館「大ホール」 テーマ：「乳がんの診断と治療 - update -」 開催方法：ハイブリット方式 (3) 検査セミナー 令和7年12月6日(土) 又は12月13日(土) で開催予定 開催方法：ハイブリット方式を予定 会場、テーマ等は未定 (4) 薬剤師セミナー 令和8年1月31日(土) テーマ、開催方式等は未定	令和8年 3月					
			○ 県民フォーラムなどの開催 第15回 ひょうご県民がんフォーラム 令和7年11月8日(土) 神戸市教育会館「大ホール」 テーマ、開催方法は「未定」 担当施設：神戸市立医療センタ中央市民病院	令和7年 11月					
			○ 協議会との共催に同意が得られた研究会、懇話会、 セミナーの共催及び後援名義の使用承認 http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html に掲載	令和8年 3月					

(注) 実施管理・区分欄の記入について

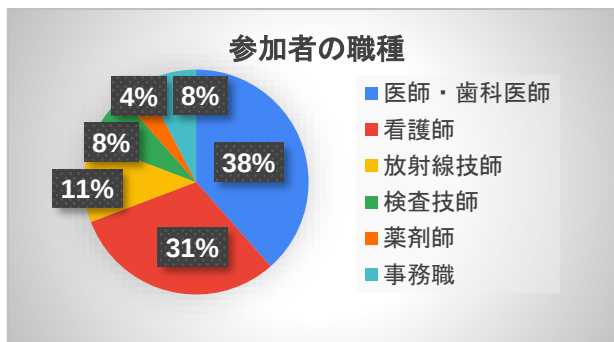
C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

令和6年度 研修・教育部会セミナーのアンケート結果

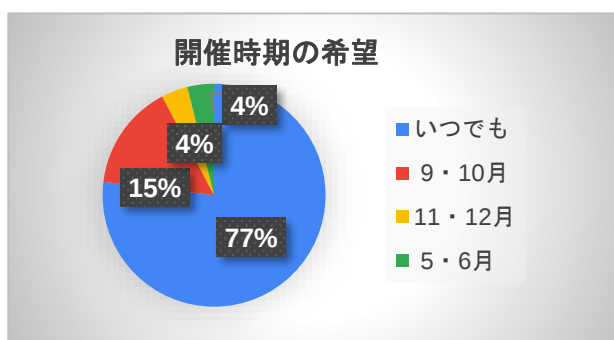
1. 職種について

職種	人数
医師・歯科医師	10
看護師	8
放射線技師	3
検査技師	2
薬剤師	1
事務職	2
計	26



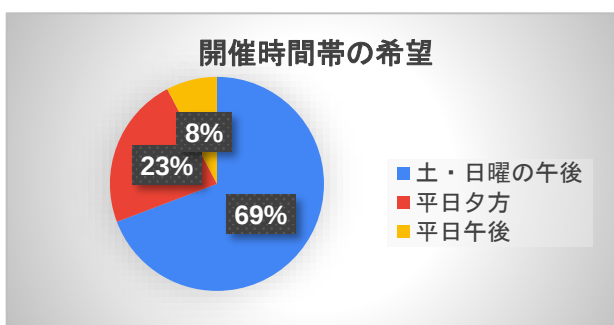
2. 開催時期の希望

時期	人数
いつでも	20
9・10月	4
11・12月	1
5・6月	1
回答無し	0
計	26



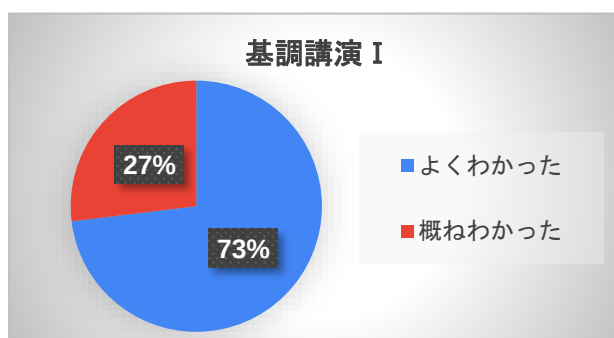
3. 開催時間帯の希望

時間帯	人数
土・日曜の午後	18
平日夕方	6
平日午後	2
回答無し	0
計	26



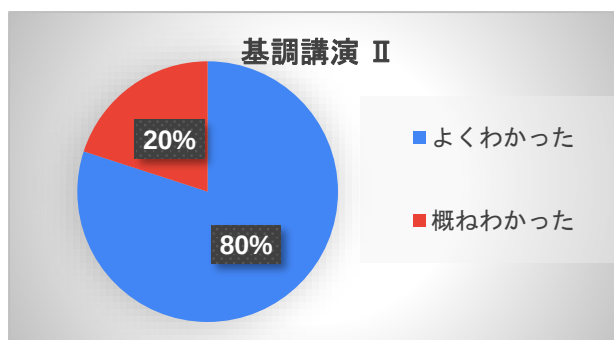
4. 基調講演Ⅰの内容 (瀧口教授)

理解度	人数
よくわかった	19
概ねわかった	7
少しわからなかった	0
回答無し	0
計	26



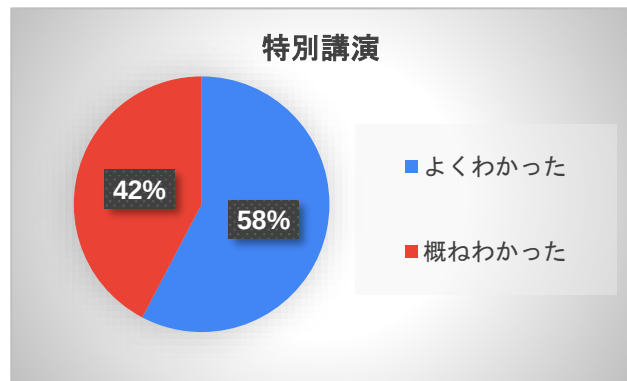
5. 基調講演Ⅱの内容 (植村講師)

理解度	人数
よくわかった	20
概ねわかった	5
少しわからなかった	0
回答無し	1
計	26



6. 特別講演の内容 (関本総長)

理解度	人数
よくわかった	15
概ねわかった	11
少しわからなかった	0
回答無し	0
計	26



7. 今後のセミナーの希望

- ・肺がん治療
- ・膀胱がん治療
- ・婦人科、泌尿器科手術についても知りたい
- ・がん治療におけるチーム医療

8. その他意見

- ・最新の治療について学ぶことができた。
- ・消化器がんの治療について、多くのことを学べた。
- ・手術映像が見れておもしろかった。
- ・大変勉強になりました。特別講演の関本先生の話が特によかった。(もっと聞きたかった)
- ・会場参加者にとって、Web配信のためのカメラが視界の邪魔になっている部分がある。

兵庫県がん診療連携協議会「情報・連携」部会関連

項 目	内 容
令和6年度の活動報告	1 活動報告 1) 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会を年2回開催 第25回 令和6年9月28日(土) 13:00～16:30 対面開催 60名参加 【内容】「早期からの就労支援 ～療養者就職支援対策から 相談者のニーズに応じた就労支援ができるようになろう！～」 第26回 令和7年3月8日(土) 9:30～16:20 対面開催 (午前の部) 9:30～11:10 54名参加 【内容】令和6年度 PDCAサイクルの評価 (午後の部) 12:30～16:20 80名参加 【内容】ピアサポーターフォローアップ研修&相談員との交流会 2) 事務局会議の開催 Web開催 (隔月第二金曜日 14:30～15:30 1、2月は14:30～16:00) 令和6年5月10日、7月12日、9月13日、11月8日、 令和7年1月10日、2月14日
令和7年度の活動計画 及び今後の検討課題等	1 活動計画 1) 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会 【日程】令和7年9月27日(土) 【内容】相談員研修(認定がん専門相談員単位認定研修) 高齢がん患者の意思決定について 【日程】令和8年3月 【内容】午前の部 質評価 午後の部 ピアサポーターフォローアップ研修・交流会 2) 事務局会議 開催日時 奇数月(5・7・9・11・1・3月)、2月 第2金曜日 14:30～15:30 1月～3月は検討事項が多く、16:00まで 開催方法 WEB会議システム(Zoom) 3) 相談員研修関連 相談員研修の企画・開催、指導者の育成(案内、参加調整、研修参加等) 指導者研修への参加 4) ピアサポーター関連 ピアサポーター養成研修への協力、フォローアップ研修・交流会の合同開催 ピアサポーター活用のためのグランドデザインの整備

《 令和6年度 PDCAサイクル実施計画・管理表 》

令和7年年3月 最終評価

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名 (各グループ目的)	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容（計画）
情 報 連 携 部 会	①指導者研修（相談員研修）G								
	課題解決やがん相談支援の質の向上のための研修を企画・実施・評価することが出来るようになる	・効果的な研修を企画するための教育的知識を学ぶ必要がある ・兵庫県のがん専門相談員の質保証のためにも指導者研修へ継続して参加する必要がある	○指導者研修 前期日程 2日間 後期日程 2日間に参加し、兵庫県で求められる課題解決やがん相談支援の質向上のための研修を企画・実施・評価することが出来るスキルを習得する ○計画的かつ継続的に相談員を指導者研修に派遣する仕組みを検討し作成する	令和7年 3月	○	達成	○2024年6月25・26日、10月3・4日の4日間、指導者研修を3名（市立伊丹病院、近畿中央、県立がんセンター）が受講。県内の課題から相談員研修の企画を立案できた ○計画的かつ継続的に相談員を指導者研修に派遣するため、輪番制を定めて参加調整を行う仕組みを作成できた	継続	・2025年度は、相談員研修Gとなり、高齢者の意思決定にどうかかわるかというテーマで研修を開催する ・指導者研修の参加調整を運用し、継続的な知識の更新やスキルの向上に繋がる相談員研修を安定的に開催していく
	②就労支援G								
	治療と仕事の両立支援や就職支援の充実を図る	治療と仕事の両立支援や就職支援の継続と維持の必要性がある	○兵庫県がん相談員研修（Ⅲ群認定研修）を企画し実施する ○ハローワークと病院のオンライン面談連絡先一覧の更新等の引継ぎ体制を構築する ○仕事とお金のお悩みオンライン相談会の実施（目標10件）と評価を行う	令和7年 3月	○	達成	○がん相談員研修 9月28日、参加者60名 テーマ「早期からの就労支援～療養者就職支援対策から相談者のニーズに応じた就労支援ができるようになるう！」 ○ハローワークとのオンライン面談資料は、各施設で管理する ハローワーク窓口を一元化シート【就労支援】に集約し掲載する ○社会保険労務士等とのワライン相談会の他病院との連携件数は7件	完了	3年間の就労支援推進強化を図れたためグループ活動を終了する。 オンライン相談会の窓口は、兵庫医科大学病院が継続する。
	③ピア育成推進G								
	行政と協働し、ピアサポート活動の質向上に向けた支援に取り組む	人材の育成と質保証を継続して行う必要があり、体制整備が必要である	○兵庫県がんピアサポーターに関する研修会を、兵庫県疾病対策課と連携し実施する (1)兵庫県がんピアサポーター養成研修（8月～9月）開催に協力する（講師、ファシリ等） (2)兵庫県がんピアサポーターフォローアップ研修・交流会（3月）を兵庫県疾病対策課と連携し合同開催する（企画、準備、運営等） ○兵庫県疾病対策課と連携して、兵庫県がんピアサポーター育成のブランドデザインを整備、さらなる活用に向けた体制づくりを行う	令和7年 3月	○	概ね 達成	○兵庫県と協働し、ピアサポーター養成研修（8月24、25日対面開催27名参加）、フォローアップ研修＆交流会（3月8日対面開催ピアサポーター30名、相談員50名参加）を開催することができた。フォローアップ研修では外部講師を迎え、現状と問題点に対応できる研修にした。 ○昨年度に引き続き、他府県にヒアリングし、その中から兵庫県の現状に合わせたピアサポート事業（案）について検討し、活動方針をまとめることができた。	継続	引き続き兵庫県と協働する。養成研修は開催時期の見直し、フォローアップ研修は今年度の研修評価から達成できたことと課題を抽出し、次年度の研修に活かす。検討したびあサポート事業活動方針を実行できるよう兵庫県と協働する。
携 部 会	④質評価G								
	相談支援体制の機能強化や情報の共有化を図る	県内の相談支援の現状を把握して対策に活かす必要がある	○相談員の資格と研修修了状況の把握 時期：2024年11月～2025年3月（予定） 方法：各施設の情報を収集し、集計後に3月部会で報告する ○相談支援情報の一元化のとりまとめ 時期：2024年9月～2025年1月（予定） 方法：各施設の情報を収集し、とりまとめ後に協議会HPへ公開する ○PDCA関連 (1)PDCA実施状況チェックリスト 時期：2024年11月～2025年3月（予定） 方法：各施設のチェックリストを集計し、部会で共有後、協議会HPへ公開する (2)各病院のPDCAシート 方法：各病院は2024年度の計画を立案し、2025年3月の部会で評価を共有する ○部会活動報告書及び次年度の計画書を作成し協議会へ報告 時期：2025年2月幹事会、4月協議会、6月幹事会へ、それぞれ必要資料を提出する ○3月部会の開催 第27回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会 日時：2025年3月（予定） 場所、テーマは未定 開催方法：参集にて開催 担当施設：質評価G	令和7年 3月	○	達成	○相談員の資格と研修修了状況の把握 ○相談支援情報の一元化更新のとりまとめ 3月情報・連携部会（午前の部）でとりまとめた結果を報告。相談支援情報の一元化更新については、協議会HPで情報更新を行った。 ○PDCA関連 (1)新PDCA実施状況チェックリスト 2024年5月、9月に実施。9月実施分のとりまとめを行い、3月部会（午前の部）にて報告。協議会HPで情報更新を行った。 (2)各病院のPDCAシート 2024年4月に計画立案を周知、9月部会にて中間評価のアナウンスを実施。最終評価についても3月部会(午前の部)にて共有。 (3)情報・連携部会のPDCA評価表 立案、中間評価、最終評価をとりまとめ、事務局会議で共有。情報・連携部会MLで配信を行い、部会員へ共有した。 ○部会活動報告書及び次年度の計画書を作成し協議会へ報告 2024年6月幹事会、2025年2月幹事会へ資料提出。4月協議会へも資料提出予定。 ○3月部会の開催 2025年3月8日 情報・連携部会 (午前の部)「2024年度 PDCAサイクルの評価」参加者 54名 各施設の取り組み、成果について共有。質評価Gの業務結果報告、次年度の小集団活動目標と計画について発表。ピア育成推進G企画運営の部会と同日開催となるため、両Gで開催準備について協働した。	継続	相談支援の現状について分析を行った結果、質の高い相談支援を提供できる体制の整備が必要であることが明らかとなった。また、経験年数が3年目未満の相談員が約半数であるため、継続した連携を図り、指導者研修の参加継続、各研修会参加への意識付けなど、相談員の更なる質の向上を目指して次年度の課題として共有し、部会全体で取り組んでいく。

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《 令和6年度 PDCAサイクル実施計画・管理表 》

令和 7年 4月 1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名 (各グループ目的)	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容（計画）
情 報 連 携 部 会	①相談員研修G								
	がん相談対応の質の向上のために、定期的な知識・技術の更新に努める	・兵庫県における相談支援機能強化に向け、問題の解決や質向上のための研修を開催する必要がある ・その研修を企画・実施・評価ができる指導者育成が必要である	○2025年兵庫県がん相談員研修（Ⅲ群認定研修）を企画し実施する ○2025年国立がん研究センター主催「指導者研修」に参加し研修企画に必要な知識を学び立案する ○2026年以降も継続的に「指導者研修」に参加できるよう「指導者研修参加調整の取り決め」を実行していく ○その他	令和8年 3月					
	②ピア育成推進G								
	行政と協働し、ピアサポート活動の質向上に向けた支援に取り組む	人材の育成と質保証を継続して行う必要があり、体制整備が必要である	○兵庫県がんピアサポーターに関する研修会を、兵庫県疾病対策課と連携し実施する（ピアサポーター養成研修、フォローアップ研修・交流会）	令和8年 3月					
	③質評価G								
	相談支援体制の機能強化や情報の共有化を図る	県内の相談支援の現状を把握して対策に活かす必要がある	○相談員の資格と研修修了状況を把握する 時期：2025年11月～2026年3月（予定） 方法：各施設の情報を収集し、集計後に3月部会で報告する ○相談支援情報の一元化のとりまとめを行う 時期：2025年9月～2026年1月（予定） 方法：各施設の情報を収集し、とりまとめ後に協議会HPへ公開する ○PDCA関連 (1)PDCA実施状況チェックリスト 時期：2025年11月～2026年3月（予定） 方法：各施設のチェックリストを集計を行い、部会で共有後、協議会HPへ公開する (2)各病院のPDCAシート 方法：各病院は2025年度の計画を立案し、2026年3月の部会で評価を共有する (3)情報・連携部会のPDCA評価表 方法：立案、中間評価、最終評価のタイミングで事務局会議にて共有する ○部会活動報告書及び次年度の計画書を作成し協議会へ報告 時期：2026年2月幹事会、4月協議会、6月幹事会へ、それぞれ必要資料を提出する ○3月部会の開催 第28回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会 日 時：2026年3月（予定） 場 所、テーマは未定 開催方法：参集にて開催 担当施設：質評価G	令和8年 3月					

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

兵庫県がん診療連携協議会「がん登録」部会関連

項 目	内 容
令和6年度の活動報告	○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催 開 催 日：6月26日(Web開催) 議 事：今年度の院内がん登録関連スケジュールの概要 QI研究にかかるデータ提出スケジュールについて 小児患者体験調査実施について 等 参 加 者：41施設 50名参加 ○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催 ・ 第1回院内がん登録実務者ミーティング 開 催 日：11月14日(Web開催) テ ー マ：喉頭・甲状腺・食道の解剖とUICC TNM病期分類及び演習解説 講 師：国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録室 江森 佳子 氏 担当病院：県立尼崎総合医療センター 参 加 者：94施設 217名参加 ・ 第2回院内がん登録実務者ミーティング 開 催 日：1月31日(ハイブリッド開催) テ ー マ：兵庫県がん診療連携協議会HP公表案について ※「別表1」参照 (集計結果は「兵庫県がん診療連携協議会」HP内のがん登録情報として公表) 自施設内でのがん登録の活用について 担当病院：加古川中央市民病院 参 加 者：35施設(会場33名、Web30名 計63名参加) ○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加 開 催 日：5月28日 国立がん研究センター(Web開催) 報告事項：院内がん登録関連今年の予定 QIデータ提出等に関する予定 等 * 全国がん登録実務者研修会の開催 開 催 日：9月20日～10月31日(動画配信) テ ー マ：全国がん登録の届出実務とデータ分析～登録時のポイントと演習～ 講 師：国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター長 松田 智大 氏 視聴回数：204回
令和7年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催 6月開催予定 ○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催 年2回開催予定(講義形式(11月)、院内がん登録数集計報告等(2月))を予定 ○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加 開催時期未定 * 全国がん登録に関する研修会の開催 開催時期、内容未定

《令和 6 年度 P D C A サイクル実施計画・管理表》

令和 7 年 3 月 末日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理			
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価	A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分 今後の改善内容（計画）
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を 収集・分析する 体制整備	拠点病院の指定要件として、院内がん登録のデータを活用し、登録数や各治療法についてのがん種別件数をホームページ等で情報公開するよう努めることとされている。 現在、県がん診療連携協議会のホームページにおいて加盟病院別の件数・割合や院内がん登録数及び胃、肺、大腸、乳、前立腺がんの治療法件数・割合を掲載しているが、より患者のニーズに対応した掲載内容とすることが必要である。	患者等に役立つデータの掲載に向け、情報の取り扱いに配慮しながら、県がん診療連携協議会がん登録部会及びその下部組織であるがん登録実務者ミーティング等で検討を重ねていく。 検討結果ついて、加盟病院に了解を得られたデータ等を協議会ホームページに掲載する。	令和7年 3月	○	達成	がん診療連携協議会のホームページに、がん登録部会の施設別2022年院内がん登録数と大腸・肺・胃がん、乳、前立腺の施設別治療法集計データを掲載した。 (この集計は、令和7年2月に開催された兵庫県がん診療連携協議会幹事会で公表を承認されたものである。)	継続 来年度もがん登録部会・実務者ミーティングで検討しながら2023年診断症例の情報収集に努め、兵庫県のがん診療や県民に役立つ情報提供を行っていく。
	がん登録実務の 精度向上	平成28年1月にがん登録等の推進に関する法律が施行され、院内がん登録実務者のレベルアップが課題となっている。 また、令和5年3月に通知された院内がん登録の二次利用におけるオプトアウトについて、施設ごとに対応していく必要がある。	年2回（11月、2月）、がん登録実務者ミーティングを開催（うち1回は講義形式）し、がん登録に係る知識向上、情報共有等を図る。 各施設毎に国立がん研究センターが開催する初級者認定試験や初級者・中級者研修や更新試験、データ集計・分析研修に積極的に参加し技能を磨く。（全国がん登録セミナーなど研修にも参加） また、院内がん登録の二次利用におけるオプトアウトに関し、患者に対する周知や追加事項のシステム対応などについて、引き続きがん登録部会等を通じて情報共有を図る。	令和7年 3月	○	達成	院内がん登録実務者ミーティングを2回（11/14、1/31）WEBで開催した。 ・第1回目：94施設217名参加 ・第2回目：35施設63名参加 また、がん登録部会において、国の全国がん登録関連の動きを伝達するとともに、全国がん登録実務者研修として動画配信（9/20～10/31：視聴回数204回）を実施した。	継続 年2回のがん登録実務者ミーティングの開催（うち1回は講義形式）やがん登録部会における院内がん登録二次利用のオプトアウト対策などのがん登録関連情報の共有、全国がん登録に関する研修の開催等により、がん登録に係る実務者の知識向上、情報共有等を図る。
	全国がん登録情報の 予後情報還元申請	申請に必要なセキュリティ対策等の整備進んでいないなどにより、情報還元申請が少ない。	各拠点病院等が円滑に県へ情報還元申請ができるよう、相談・支援を行うとともに、がん登録部会等で情報共有を図ることで、情報還元が受けられる病院の増加を図る。	令和7年 3月	○	達成	第2回院内がん登録実務者ミーティングにおいて、グループワークで自施設内でのがん登録の活用について検討した。活用には、院内がん登録マニュアルを遵守し自施設の運用規程などの作成・体制整備の必要性を情報共有した。	継続 引き続き、各拠点病院等が県への全国がん登録情報の予後情報還元申請を円滑に行えるような支援を継続する。

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

《令和 7年度 P D C A サイクル 実施計画・管理表》

令和 7年 4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容（計画）
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を 収集・分析する 体制整備	拠点病院の指定要件として、院内がん登録のデータを活用し、登録数や各治療法についてのがん種別件数をホームページ等で情報公開するよう努めることとされている。 現在、県がん診療連携協議会のホームページにおいて加盟病院別の件数・割合や院内がん登録数及び胃、肺、大腸、乳、前立腺がんの治療法件数・割合を掲載しているが、より患者のニーズに対応した掲載内容とすることが必要である。	患者等に役立つデータの掲載に向け、情報の取り扱いに配慮しながら、県がん診療連携協議会がん登録部会及びその下部組織であるがん登録実務者ミーティング等で検討を重ねていく。 検討結果ついて、加盟病院に了解を得られたデータ等を協議会ホームページに掲載する。	令和8年 3月					
	がん登録実務の 精度向上	平成28年1月にがん登録等の推進に関する法律が施行され、院内がん登録実務者のレベルアップが課題となっている。 また、令和5年3月に通知された院内がん登録の二次利用におけるオプトアウトついて、施設ごとに対応していく必要がある。	年2回（11月、2月）、がん登録実務者ミーティングを開催（うち1回は講義形式）し、がん登録に係る知識向上、情報共有等を図る。 各施設毎に国立がん研究センターが開催する初級者認定試験や初級者・中級者研修や更新試験、データ集計・分析研修に積極的に参加し技能を磨く。（全国がん登録セミナーなど研修にも参加） また、院内がん登録の二次利用におけるオプトアウトに関し、患者に対する周知や追加事項のシステム対応などについて、引き続きがん登録部会等を通じて情報共有を図る。	令和8年 3月					
	全国がん登録情報の 予後情報還元申請	申請に必要なセキュリティ対策等の整備進んでいないなどにより、情報還元申請が少ない。	各拠点病院等が円滑に県へ情報還元申請ができるよう、相談・支援を行うとともに、がん登録部会等で情報共有を図ることで、情報還元が受けられる病院の増加を図る。	令和8年 3月					

（注）実施管理・区分欄の記入について

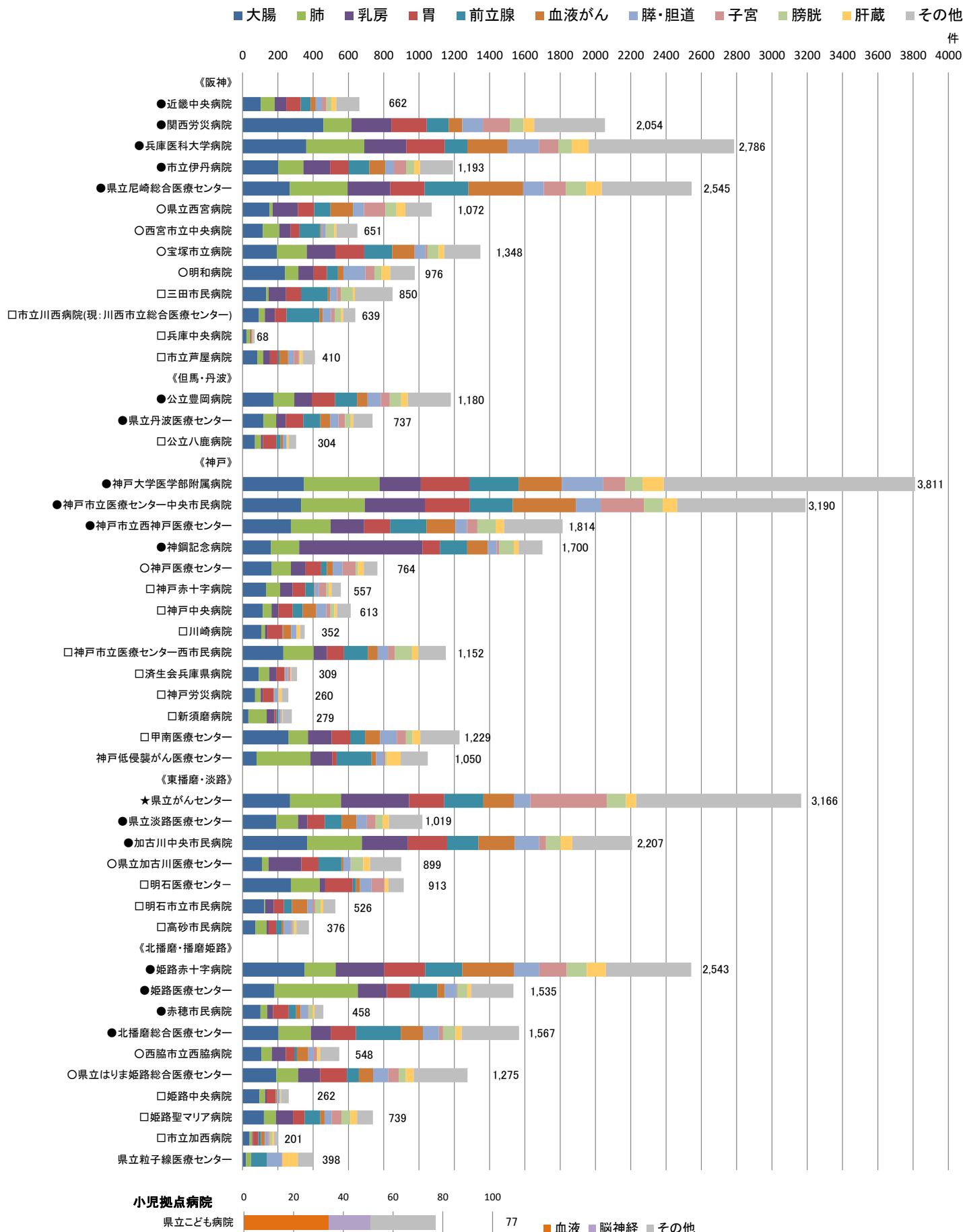
C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

兵庫県がん診療連携協議会協議会 院内がん登録情報 2022年症例 施設別 部位別がん登録件数

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

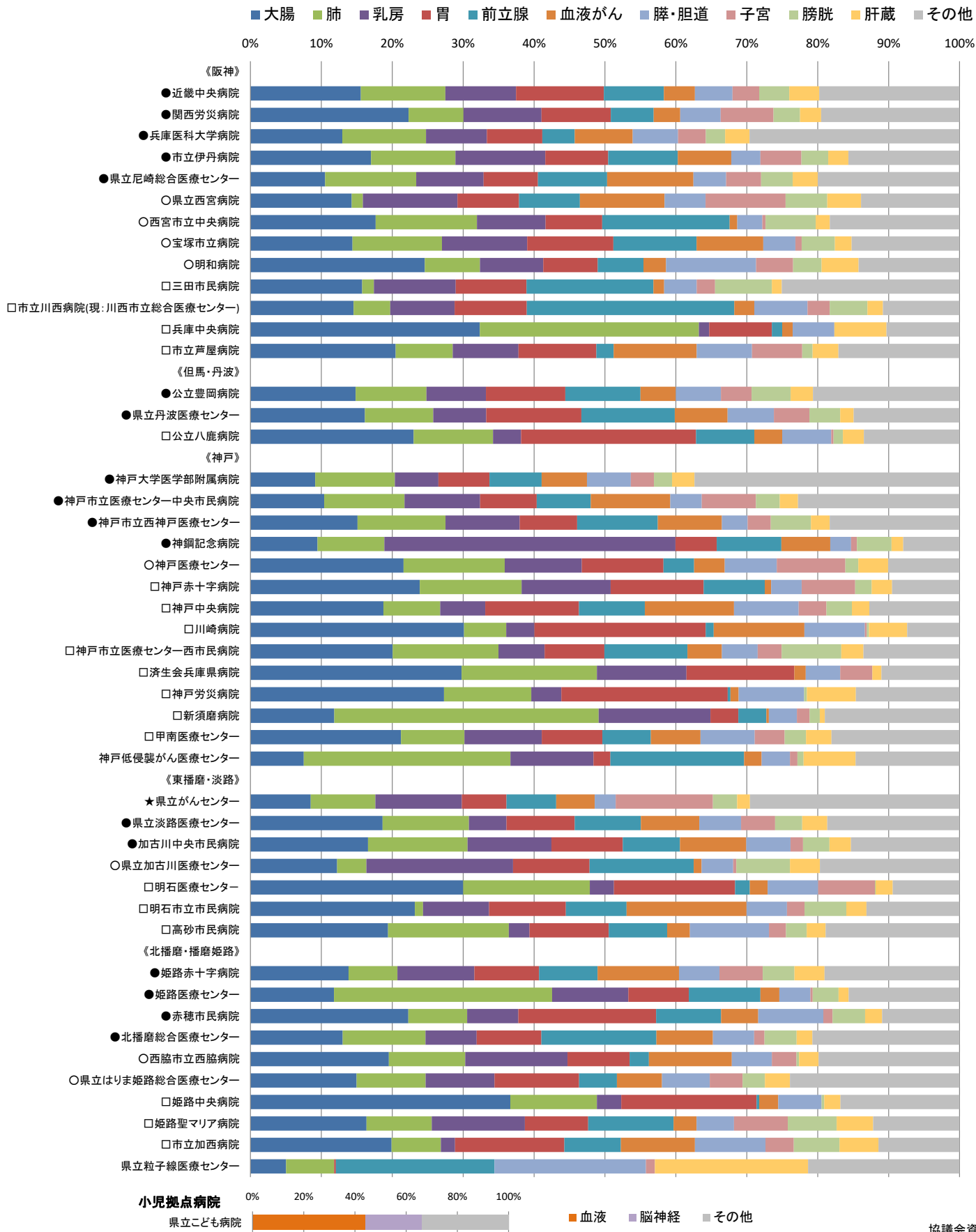
別表1



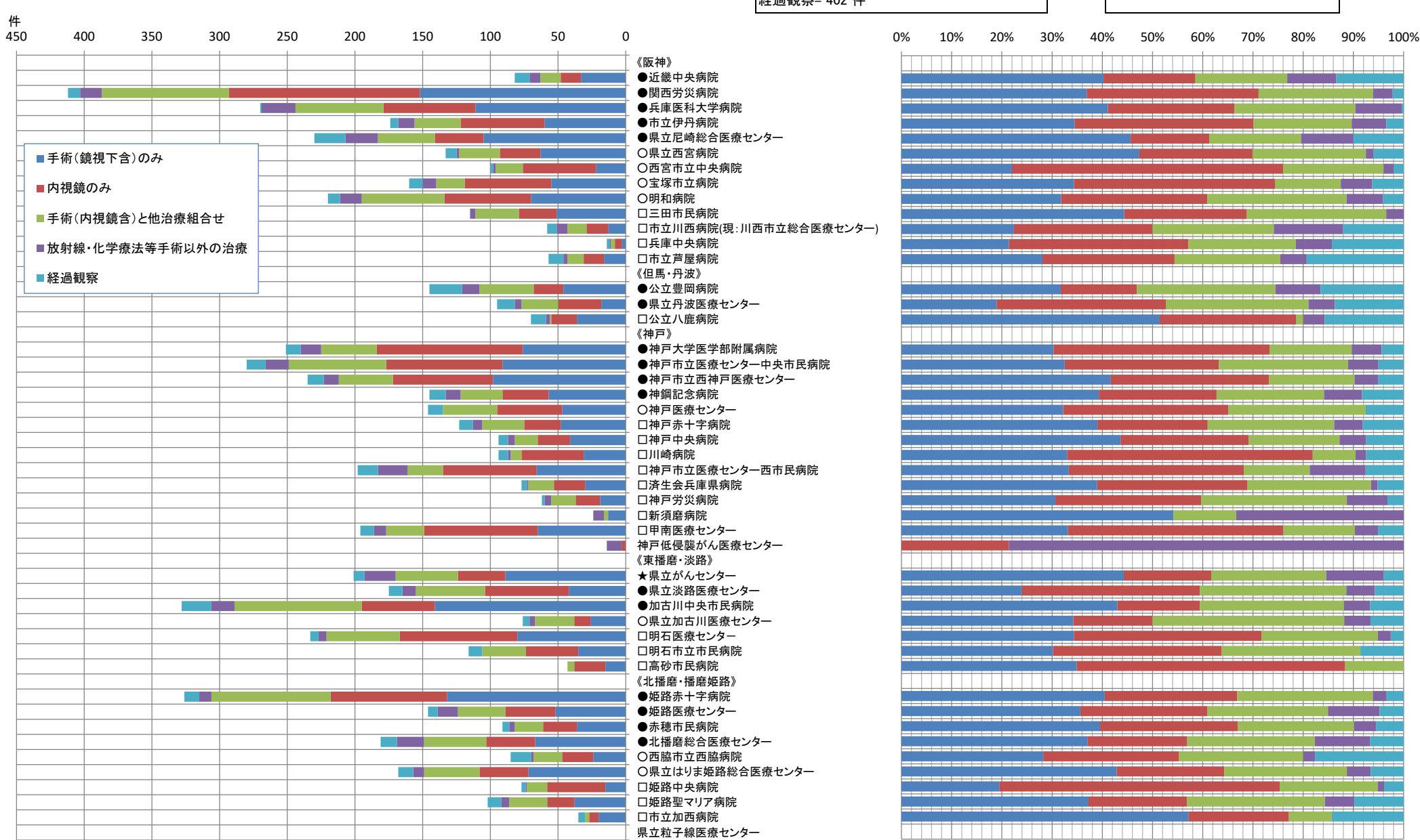
兵庫県がん診療連携協議会協議会 院内がん登録情報 2022年症例 施設別 部位別がん登録割合

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

別表1

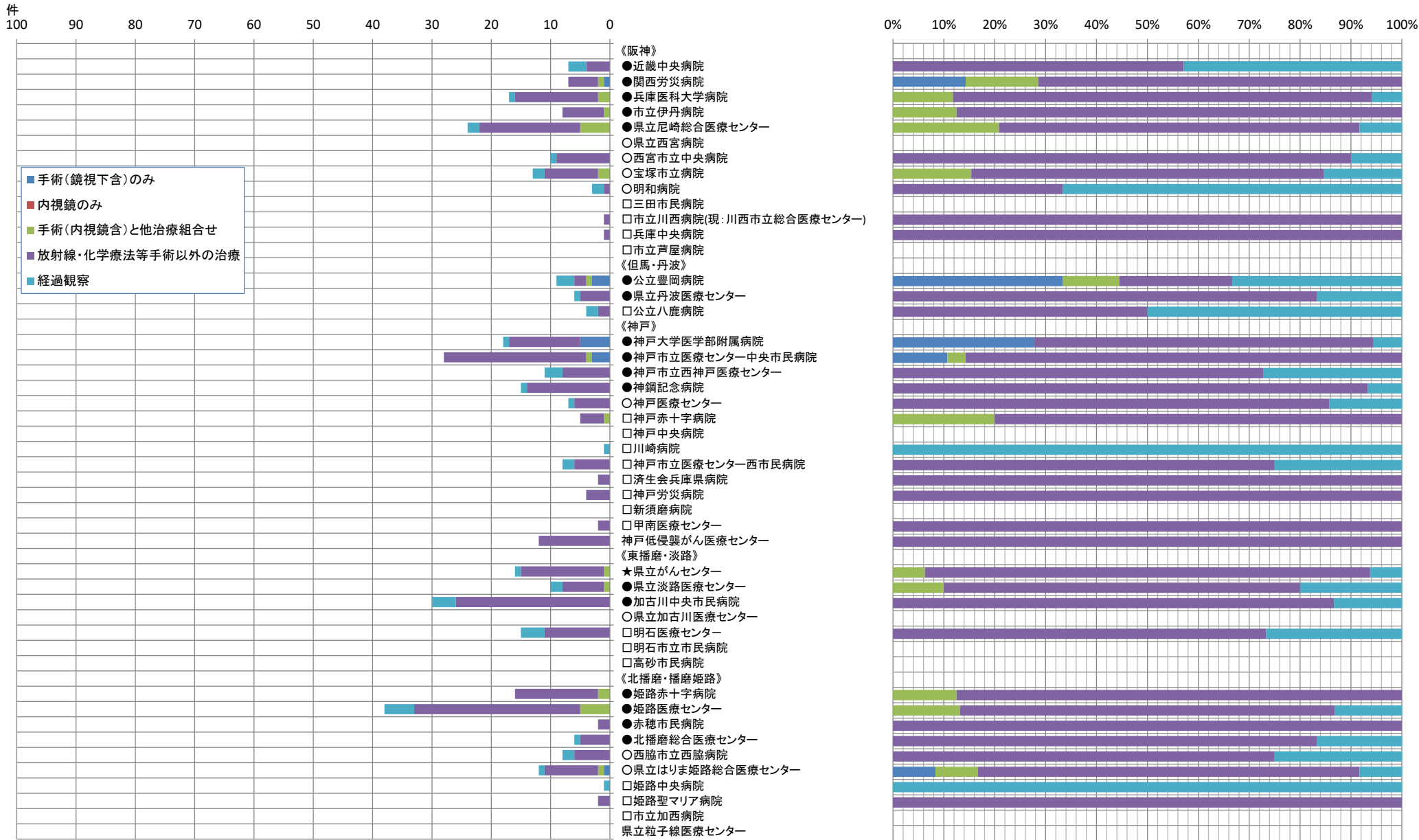


2022年症例 大腸癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

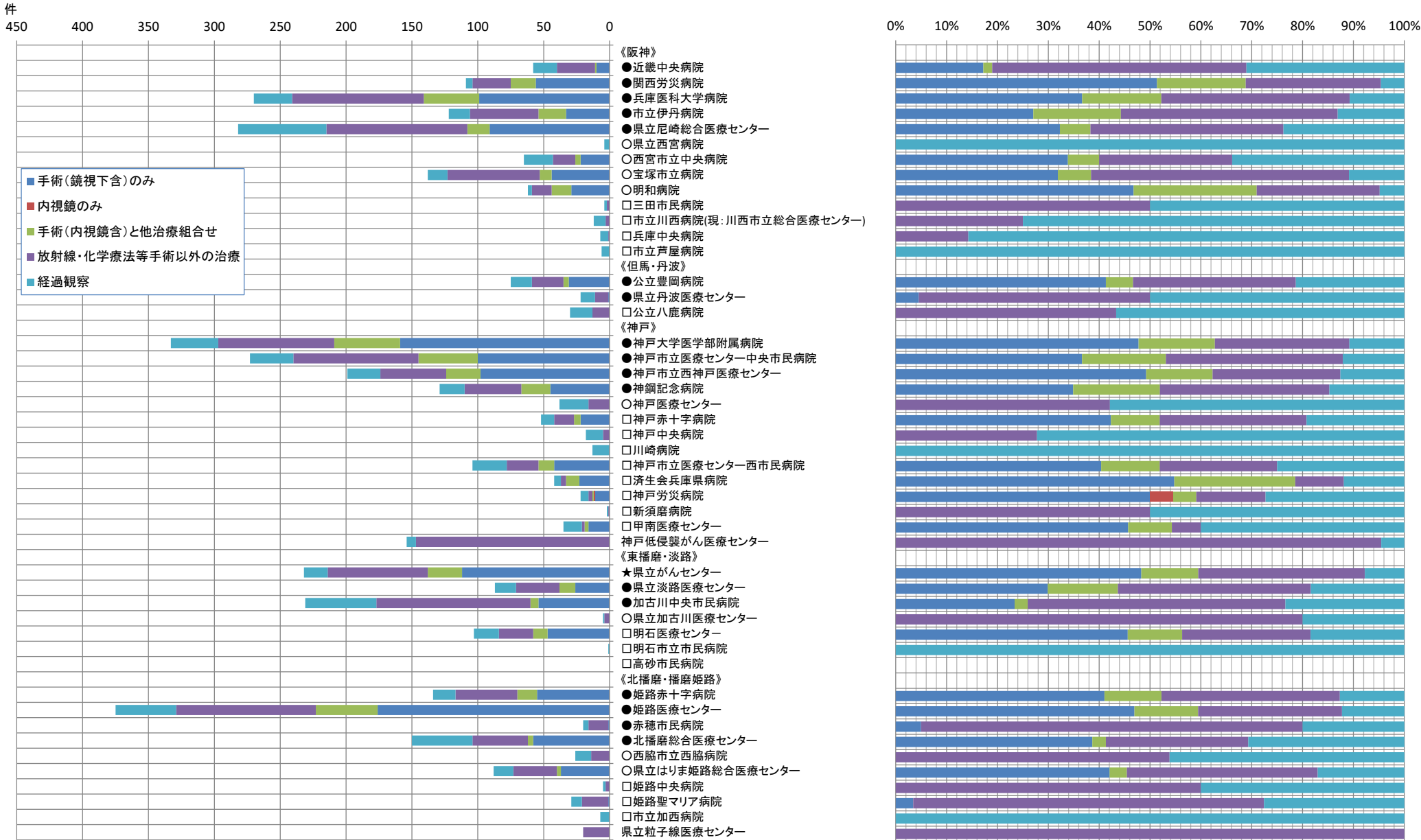


別表1

2022年症例 小細胞肺癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)



2022年症例 非小細胞肺癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)



【治療内容と集計数】
治療集計数合計= 4,193 件
手術(鏡視下含)のみ= 1,499 件
内視鏡のみ= 1-3 件
手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 430 件
放射線・化学療法等手術以外の治療= 1,521 件
経過観察= 742 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

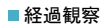
別表1

施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

經過觀察= 507 件

がん拠点病院に準じる病院

別表1

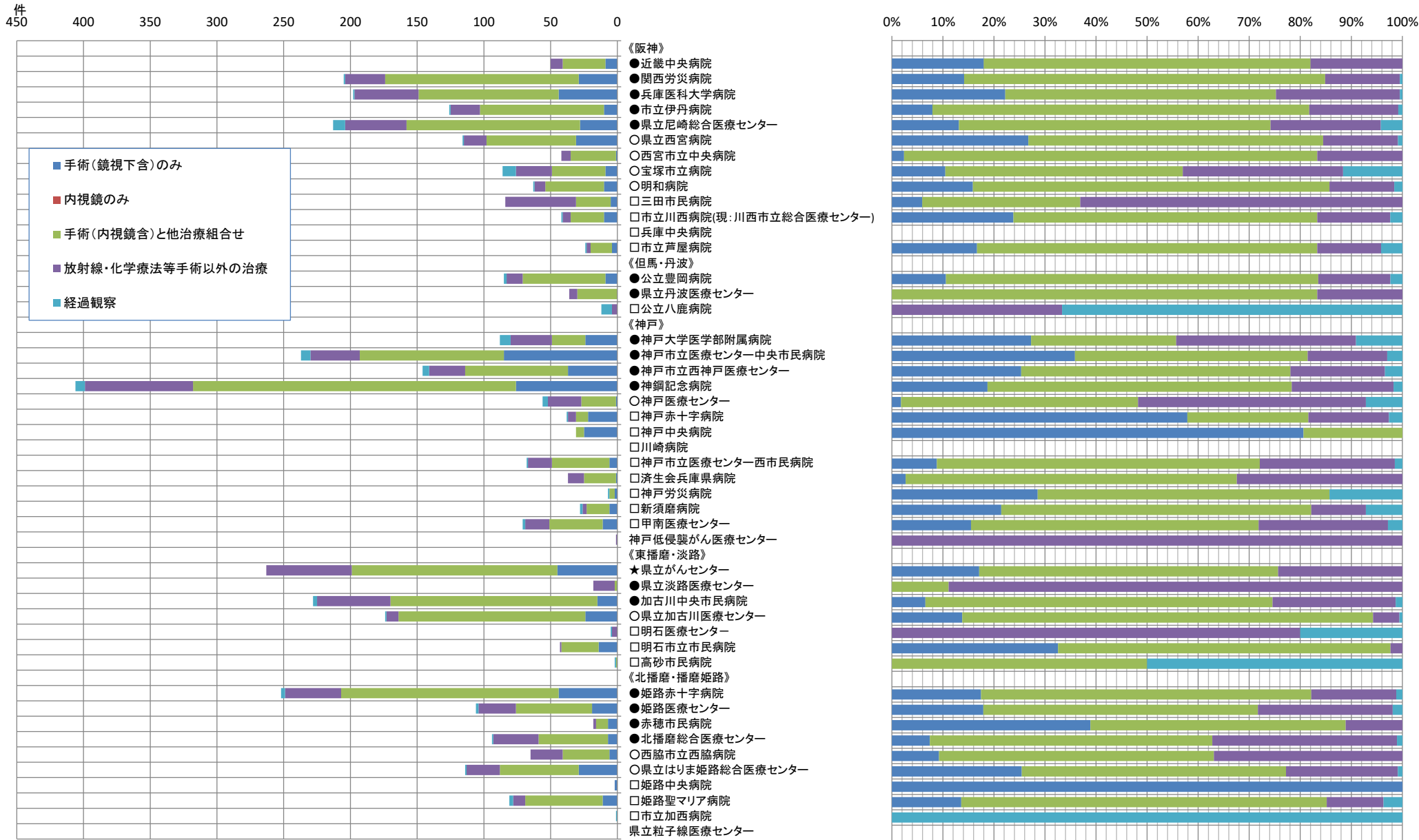


2022年症例 乳癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

【治療内容と集計数】
治療集計数合計= 4,062 件
手術(鏡視下含)のみ= 718 件
内視鏡のみ= 0 件
手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 2,383 件
放射線・化学療法等手術以外の治療= 870 件
経過観察= 91 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

別表1

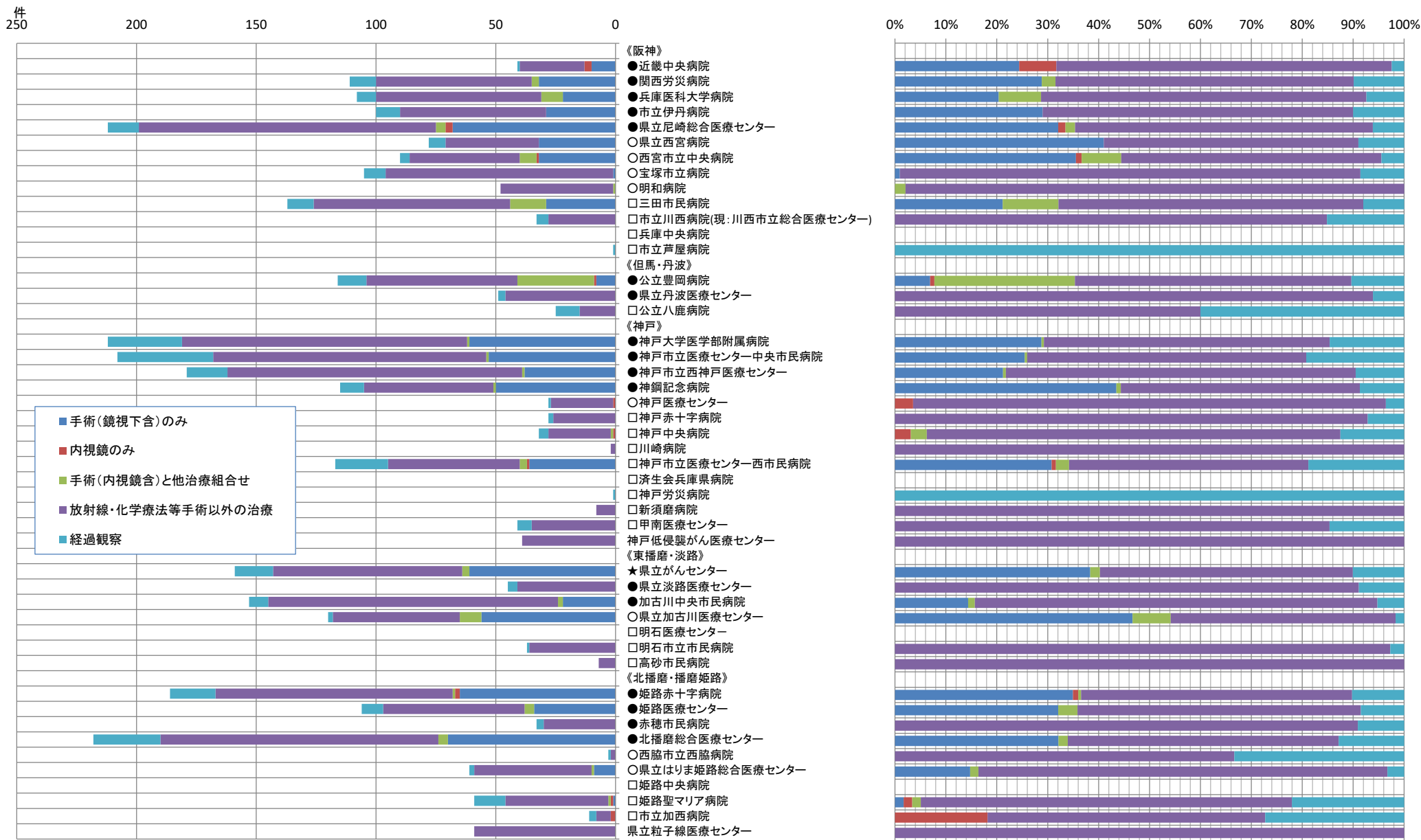


2022年症例 前立腺癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合（全病期）

【治療内容と集計数】
治療集計数合計= 3,521 件
手術（鏡視下含）のみ= 819 件
内視鏡のみ= 16 件
手術（内視鏡含）と他治療組合せ= 104 件
放射線・化学療法等手術以外の治療= 2,234 件
経過観察= 348 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

別表1



兵庫県がん診療連携協議会「緩和ケア」部会関連

項 目	内 容
令和6年度の活動報告	○ 兵庫県がん診療連携協議会 緩和ケア部会 (年4回、Web開催:5月23日、8月22日、11月28日、令和7年2月27日) ○ 緩和ケア部会運営事務局会議 (毎月第1金曜日 Web開催:令和6年4月26日、7月5日、9月6日、 10月4日、11月1日、12月6日、令和7年1月3日、2月7日、3月7日開催) ○ 緩和ケア研修会の開催(各施設で開催) ○ 令和6年度緩和ケア研修会指導者の会 (令和7年2月9日(日) 11時30分～12時30分 Web開催: 参加者;20名) ○ 令和6年度 緩和ケアフォローアップ研修会の開催 (令和6年12月7日10時～12時 Web開催: 参加者;14名) ○ 第15回 兵庫県緩和ケアチーム研修会 加古川中央市民病院担当 (令和 7年2月9日(日) 9時～11時20分 Web開催: 参加者;77名) ○ 緩和ケアチームピアレビューの実施 (令和6年10月13日 Web開催 対象施設:神戸市立西神戸医療センター) (令和6年12月 4日 Web開催 対象施設:県立はりま姫路総合医療センター) ○ 症状緩和のための専門的治療体制に関する実態調査 (9月) がん診療連携協議会HPで公開 ○ 令和6年度第12回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会 (令和6年12月6日 Web開催)
令和7年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ 兵庫県がん診療連携協議会 緩和ケア部会 (年3回、Web開催予定:令和7年5月22日、9月25日、令和8年1月22日) ○ 緩和ケア部会運営事務局会議 (偶数月第1金曜日17:00～17:30 Web会議) ○ 小集団活動の運営 ○ 緩和ケア研修会の開催予定 協議会HP掲載 令和7年4月 ○ 緩和ケア研修会に関する検討会 (日時未定:Web開催予定) ○ 緩和ケアフォローアップ研修会の開催 市立伊丹病院・近畿中央病院担当 (日時未定:Web開催予定) ○ 第16回兵庫県緩和ケアチーム研修会 北播磨総合医療センター担当 (日時未定:Web開催予定) ○ 緩和ケアチームピアレビューの実施 (日時未定:Web開催予定) ○ 症状緩和のための専門的治療体制に関する実態調査 (HP公開予定) ○ 都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会 緩和ケア部会 (令和7年12月5日 Web開催)

《 令和 6 年度 P D C A サイクル 実施計画・管理表 》

令和 7 年 3 月 末日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価	A 改善		
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容 (計画)
緩和 ケア 部 会	緩和ケア研修会	県内どこでも緩和ケアを適切に提供するために、がん診療に携わる医療従事者が緩和ケアの重要性を認め、その知識や技術を習得する必要がある	緩和ケア研修の積極的な受講勧奨を行い、緩和ケア研修会に関する課題の抽出と改善策を検討する。 ① 2024年度 PEACE指導者の会を開催する：年1回（9月～10月） ② 開催報告を緩和ケア部会MLにアップし、研修会を開催する上での問題点、改善策の話し合い内容を部会全体で共有する	令和7年 3月	○	達成	令和7年2月9日に、ZOOMでPEACE指導者の会を開催した。18施設の参加であった。開催する上での問題点を提起していただき、その改善策を参加者からご提案いただき共有した。また、PEACE研修会に対するあり方の提言もあった。しかし今回参加施設が少なく、PEACE研修会を開催する上での問題点の提起は少なかった。	継続	今回、PEACE指導者の会の参加施設が少なく、またPEACE研修会の開催する上での問題点の提起も少なかった。PEACE研修会開催に慣れてきている施設が多く、PEACE研修会を開催する上での問題点は、すでに解決済みであることが窺われた。また指導者の会の開催日時は、業務時間内時間外問わず、多数の意見はなかったが、開催意義も含め、開催時期や時間帯は今後の検討課題と思われる
	緩和ケア フォローアップ 研修会	県内どこでも緩和ケアを適切に提供するために、がん診療に携わる医療従事者が緩和ケアの重要性を認め、その知識や技術を習得する必要がある	緩和ケアに関する知識や技術を習得するために、緩和ケア研修会修了者等を対象として、緩和ケアフォローアップ研修会を企画運営する。 ①R6年1月～3月：研修会の企画・立案 ②R6年4月～11月：研修会の準備 ③R6年12月：研修会開催、開催後の報告	令和7年 3月	○	達成	R6年5月に2024年度の小集団活動を開始。神戸市立医療センター中央市民病院が主幹となり、R6年12月7日に「看取りの作法とエビデンス」「緩和的放射線治療の基本」をテーマとした緩和ケアフォローアップ研修会を開催した。応募人数18名、参加人15名だった。	継続	R8年度も緩和ケアフォローアップ研修会を開催。主幹を「市立伊丹病院」と「近畿中央病院」の共催として実施する。応募人数の増加を目指して、広報の充実を図る。
	緩和ケアチーム 研修会	拠点病院における専門的緩和ケアサービスの質の向上が必要である	緩和ケアに関する専門的な知識や技能を有する緩和ケアチームメンバーを育成するために、拠点病院等の緩和ケアチームによる研修会を企画運営する。 ①講演内容を相談（5月～7月） ②日時、講演内容・講師の決定（7月） ③プログラム確定、講師との連絡を事務局に依頼（8月） ④開催案内（12月） ⑤研修会実施（12月～2月頃） ⑥開催後の報告、次年度への課題抽出（2月～3月）	令和7年 3月	○	達成	5/10、7/25、11/27と小集団会議を重ねた。研修会内容は、講演会とPDCAサイクルピアレビューを行うこととなった。日時は2/9（日）9：00-11：20。講演会の講師は医療法人甲風会 有馬温泉病院 看護部長 老年看護専門看護師 西山 みどり 先生。12月末に開催案内・応募方法をメール済。	継続	休日にチーム単位での参加となれば、全員が病院に集まる必要がある。休日出勤、時間外業務、自己研鑽など参加形態はさまざま。場合によっては働き方改革上問題となり、開催の日時を考慮する必要がある。講演とPDCAサイクルピアレビューの二本立てでよい今後も検討が必要。2025年度主幹施設は北播磨総合医療センター。2027年度の主幹施設を決める必要あり。
	緩和ケアチーム ピアレビュー	拠点病院における専門的緩和ケアサービスの提供体制に関して、適切に他者評価ができていない	緩和ケア提供体制に関するピアレビューを、緩和ケアチームが相互訪問することで実施する。 ①ピアレビューの事務局の立ち上げ（7月） ②参加施設の選定（8月） ③ピアレビューの実施（10月～12月）：対象は2施設 ④ピアレビュー実施後の報告（令和7年1月～2月）	令和7年 3月	○	達成	2施設に対して、ピアレビューを実施した（10月・13月）。両施設に対して報告書を提出した。	継続	ピアレビュー受審の効果、アウトカム評価をこれまでに受審した5施設に対して実施する（7月まで） 1施設に対して、ピアレビューを実施する（10月～13月）
	がんの痛みに対するインターベンショナル治療	がんの痛みに対して、インターベンショナル治療を提供する体制が不十分である	がんの痛みに対するインターベンショナル治療の提供を促進する。 ①ペインクリニック、IVRや放射線治療などの専門的な治療の実施状況について調査する（6月～9月） ②インターベンショナル治療へアクセスできるための連携方法について検討する（10月～12月） ③インターベンショナル治療が実施可能な施設、アクセス方法について、がん診療連携協議会HPで公開する（令和7年1月～3月）	令和7年 3月	○	概ね 達成	今回計画にあったインターベンショナル治療の提供としてがん診療連携協議会HPでの公開は予定通り進んでいる。加えて院内での患者向けの広報についての取り組みを行った。	継続	来年度も引きつづき取り組みを行う。また地域連携での実際の効果についても評価する。

(注) 実施管理・区分欄の記入について
C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《 令和 7年度 P D C A サイクル実施計画・管理表 》

令和7年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容 (計画)
緩和 ケア 部 会	緩和ケア研修会	県内どこでも緩和ケアを適切に提供するために、がん診療に携わる医療従事者が緩和ケアの重要性を認め、その知識や技術を習得する必要がある	緩和ケア研修の積極的な受講勧奨を行い、緩和ケア研修会に関する課題の抽出と改善策を検討する。 ① 緩和ケア研修会に関する検討会：年1回（9～10月） ② 開催報告を緩和ケア部会MLにアップし、研修会を開催する上での問題点、改善策の話し合い内容を部会全体で共有する	令和8年 3月					
	緩和ケア フォローアップ 研修会	県内どこでも緩和ケアを適切に提供するために、がん診療に携わる医療従事者が緩和ケアの重要性を認め、その知識や技術を習得する必要がある	緩和ケアに関する知識や技術を習得するために、緩和ケア研修会修了者等を対象として、緩和ケアフォローアップ研修会を企画運営する。 ① R7年4月～6月：研修会の企画・立案 ② R7年6月～10月：研修会の準備 ③ R7年11～12月：研修会開催、開催後の報告	令和8年 3月					
	緩和ケアチーム 研修会	拠点病院における専門的緩和ケアサービスの質の向上が必要である。	緩和ケアに関する専門的な知識や技能を有する緩和ケアチームメンバーを育成するために、拠点病院等の緩和ケアチームによる研修会を企画運営する。 ① 講演内容を相談（5月～7月） ② 日時、講演内容・講師の決定（7月） ③ プログラム確定、講師との連絡を事務局に依頼（8月） ④ 開催案内（10～11月） ⑤ 研修会実施（12月頃） ⑥ 開催後の報告、次年度への課題抽出(令和8年1月～2月)	令和8年 3月					
	緩和ケアチーム ピアレビュー	拠点病院における専門的緩和ケアサービスの提供体制に関して、適切に他者評価ができていない。	緩和ケア提供体制に関するピアレビューを、緩和ケアチームが相互訪問することで実施する。 ① ピアレビューを受審した5施設を対象にピアレビューの効果、アウトカムについてアンケート調査を実施する（5～7月） ① ピアレビューの事務局の立ち上げ（7月） ② 参加施設の選定（8月） ③ ピアレビューの実施（10～12月）；対象施設は1施設 ④ ピアレビュー実施後の報告（令和8年1月～2月）	令和8年 3月					
	がんの痛みに対するインターベンショナル治療	がんの痛みに対して、インターベンショナル治療を提供する体制が不十分である。	がんの痛みに対するインターベンショナル治療の提供を促進する。 ① ペインクリニック、IVRや放射線治療などの専門的な治療の実施状況について調査する（6月～9月） ② インターベンショナル治療に関して地域連携での実施の効果について検討する（10月～12月） ③ インターベンショナル治療が実施可能な施設、アクセス方法について、がん診療連携協議会HPで公開する（令和8年1月～3月）	令和8年 3月					

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

令和 6 年度 第 1 回 緩和ケア部会 議事録

日 時	令和 6 年 5 月 23 日 (木) 14:00～15:00	場 所	Zoom 会議
出席者	30 施設、39 名		
主な内容	議題の前に、報告事項 今年度より、宝塚市民病院岡山氏に代わって、副部会長：兵庫医科大学病院 乾氏が就任した。 1. 活動計画について ・別紙資料のとおり、活動部会運営について説明。 ・小集団のリーダーを置いて、グループ単位で活動する方向である。 ・年間 4 回の会議では、小集団活動の報告を中心に会議をすすめていく予定。 ・運営事務局は各小集団のリーダー、部会長と副部会長で構成する。 ・国指定および県指定の病院は小集団活動に参加する方針とする。 吉村) 県の医師会などの在宅医療の先生方に、協力を求めるのはどうか？ 坂下) がん診療連携協議会、緩和ケア部会にも兵庫県医師会の先生方が参加されているが、実務に関して参加をしていただくのは難しいと考えている。部会の活動などを情報共有していただくことが主になっている。実働されることを前提として医師会から部会員を募るのであれば、兵庫県がん診療連携協議会に依頼して、医師会のメンバーを推薦してもらうという形になると思われる。 吉村) 建付けはわかっていないが、SG1 の緩和ケア研修会だけ言えば、これからは地域の医師や薬剤師、看護師に参加していただくということが有効なのではないかと思う。SG1 に所属していただいて、医師会の先生を通じて研修会についてアナウンスしてもらうことがよいのではないかと思う。緩和ケアの整備については地域を含めて行っていくことが望ましいと思う。 山川) 医師会にお願いするなら、協議会を通じて医師会にお願いするということになるだろう。SG1 に指定病院以外のメンバーが所属するというよりは、協議会を通じて参加のお願いすることになるのだろうと思う。 2. 小集団グループ活動について SG1: 吉村 昨年度から引き続きの活動になる。緩和ケア研修会を広めていけるようにしたいと思う。研修会の運営で困ることなどあれば共有していきたい。指導者の会については、昨年度よりも早めの開催を予定している。1 回目の SG1 の会議を開く予定になっている。今後、日程調整を行う予定。		

SG2：西本

先週 5 月 16 日に小集団活動を行った。今年度から研修会を持ち回りでしていくということになり、SG2 に参加してもらっている施設で、年度ごとに持ち回りで行う。終われば SG2 を卒業ということにした。今年度 1 回目は、研修会を計画予定。12 月ごろを予定している。各テーマについては、施設ごとに検討するが、県のフォローアップ研修でふさわしいかどうかについて検討する方針としている。来月に次回の会議を持つ予定。講義してもらったかたへの謝金、開催施設が病院の実績とし認められるかどうか確認中である。

SG3:西澤

緩和ケアチーム研修会では、講演会と PDCA サイクルについて取り上げる予定。2024 年度は県立尼崎医療センターが当番幹事施設となっている。PDCA は会議前に仕上げておく予定としている。緩和ケアチーム研修会は、12 月または 1 月で開催する予定としている。

SG4：堀

2 施設ピアレビュー予定をしている。参加施設を募集するので協力をしてほしい。

SG5:福永

3 年目の活動になる。例年通り、がん診療連携協議会のホームページ上で各施設の診療体制について広報活動を行う方針。また、がん性疼痛指導料に加えて難治性疼痛指導管理料についても共有していきたいと思う。パンフレットや患者向けの資料の作成についても取り組めたらよいと考えている。

濱中) 今後は診療情報については、医療者向けと患者向けと別々に検討できればと思っている。

3. 兵庫県がん対策推進計画について

がんと診断された時からの緩和ケア等の推進を達成するために、推進方策としては、①緩和ケアの質の向上、②緩和ケアチームや緩和ケア外来の診療機能の向上、が掲げられている。緩和ケア部会の活動内容については、同計画に沿って小集団活動を定めている。在宅において緩和ケアを受けることができるために、緩和ケア外来の診療機能の向上や退院後も必要に応じて緩和ケアを行うことができる体制づくりが掲げられているが、現在の緩和ケア部会の活動としては落とし込めていない。今後の緩和ケア部会の活動として必要なものがあれば、緩和ケア部会としては検討していきたい。

4. 「がん診療連携拠点病院等における緩和ケアの質の向上に資する実地調査の実装、及びがんと診断された時からの緩和ケアのさらなる推進に資する研究」に対する協力依頼について

坂下より、上記の件について、国立がん研究センター 先端医療開発センター 小川朝生医師から兵庫県緩和ケア部会へ協力依頼があり、概要と経緯について説明をした。

	・ 取り組みはいいと思い、質向上に努めるというところはよいと思う。しかし、緩和ケアチームの質向上だけをはかっても患者のアウトカムは変わらないと思うので、地域全体の介入研究になると思う そのレベルはOPTMでやっていたことぐらいやらないとアウトカムの改善につながらないのではないかと思う。OPTMは予算を使っていた。PDCAやピアレビューをしたぐらいでアウトカムが変わるのかと思う。 坂下) 患者の院内死亡数などを見ながら話し合いを行うような内容と聞いているが、詳細な内容については決まっていない。さまざまな臨床指標を視覚化して地域連携カンファレンスを行うようなイメージだと聞いている。小川先生もまだ具体的なところは、決まっていない段階かと思う。 ・ PDCAサイクルを出すということだけでも現場としては苦痛を伴っている。それに対してロジックモデルが効率的だといわれてもこれ以上は業務を増やさないでほしいという気持ちもある。 坂下) 小川先生とロジックモデルをどう考えるかについて一緒に話を聞いてもよいと思う。ロジックモデルについては簡単な解説を小川先生に説明をしてもらって、現場で活用ができるかという話し合いの場があってもよいと思う。第2回の部会のときには、30分か40分ぐらいで意見交換を行うことを考えていた。 ・ 診療をしながらなどの業務の圧迫にならないかを懸念する。次のミーティングでは懸念をもとにお話し合いができればよいかと思う。どうすることが心配かということを小川先生と話し合えるようにしてはどうかと思う。 → 上記の懸念については、小川医師へ伝えたいので、緩和ケア部会でご協力できることがないかについては相談をしてみることもなった。坂下より小川医師へ報告する旨で了承された。
次回開催予定	令和6年8月22日(木) 14時00～
決定事項	
運営事務局での調整が必要な事項	
SGでの検討を求める事項	

令和 6 年度 第 2 回 緩和ケア部会議事録

日 時	令和 6 年 8 月 22 日 (木) 14:00～14:25	場 所	Zoom 会議
出席者	29 施設、35 名		
主な内容	1. 小集団活動について <u>SG1:吉村</u> 緩和ケアチーム研修会と指導者の会を同日に開催する予定で調整中。 指導者の会は、チーム研修会終了後の 11:30～開催。 <u>SG2:西本</u> 緩和ケアフォローアップ研修は、12/7(土)の 10 時～12 時を予定している。 講義内容:①「緩和的放射線治療」講師は神戸市立医療センター中央病院放射線科 医師 ②「看取りのエビデンス」講師は西本先生 <u>SG3:西澤</u> 緩和ケアチーム研修会の日程は、1/19(日)または 2/9(日)9:00-11:20 を予定。 (※日本緩和医療学会教育セミナーの日程以外とする。指導者の会と同日に開催する ため、例年よりも 30 分早く開始とする)当番幹事は県立尼崎医療センター。 講演テーマ:「高齢者の意思決定支援」講師は有馬温泉病院 老年看護専門看護師 西山みどり先生 ◎次年度も Web で研修会開催を予定しており、当番幹事は北播磨総合医療センター <u>SG4:堀</u> 今年度のピアレビューの受講施設・日程が決定した。 A 日程:10 月 30 日 (水) 午後 受講施設は神戸市立西神戸医療センター 事務局は関西労災病院、レビューは兵庫県立がんセンター(木村・西村) B 日程:12 月 4 日 (水) 午後 受講施設は県立はりま姫路医療センター 事務局は兵庫医科大学病院、レビューは県立西宮病院(福永・植田)、関西 労災病院(堀)を予定している。 事務局のマニュアルが欲しいとの意見もあり、マニュアルを作成している。 ◎A 日程のレビューが不足しており、緩和ケア部会のメンバーに協力をお願いしたい。 次年度以降のことも考慮し、オブザーバーの参加も募集したい。 ⇒10 月坂下先生、12 月西本先生にレビューとして協力頂く。 <u>SG5:福永</u> 1) インターベンション治療については、がん診療連携協議会の HP と自施設の HP をリ ンクさせ、情報発信を継続していく。		

	2) 今年度は、「難治性がん性疼痛緩和指導管理加算」に関する取り組みを新たに行っている。広報という視点から、「放射線治療および神経ブロックをがん患者に提供できる体制について、当該保健医療機関の見やすい場所へ掲示していること」に関して、ひな形の作成ができ次第、一例として全体共有を行う予定としている。 ◎今年度も各施設へインターベンション治療に関するアンケートを Google フォームで9月に実施予定。随時更新する必要があるため、協力をお願いしたい。 ⇒当部会で承認されたため、各施設へアンケート調査の依頼を行う。 <u>坂下医師より</u> ◎各グループリーダーの先生方へ 今年度の PDCA の Do を進捗に合わせて追記いただくようお願いしたい。 最終的に第 4 回緩和ケア部会で確認の予定とする。
次回開催予定	令和 6 年 11 月 28 日(木) 14 時 00～
決定事項	1) 各施設へインターベンション治療に関するアンケートを Google フォームで9月に実施する。メーリングリストで配信予定。
運営事務局での調整が必要な事項	
SG での検討を求める事項	

令和 6 年度 第3回 緩和ケア部会議事録

日 時	令和 6 年 11 月 28 日 (木) 14:00～14:40	場 所	Zoom 会議
出席者	28 施設、37 名		
主な内容	1. 小集団活動について <u>SG1:吉村</u> 2024 年度 PEACE 指導者の会開催について 令和 7 年 2 月 9 日 (日) 11:30～開催 *緩和ケアチーム研修会と同日開催 緩和ケアチーム研修会と指導者の会を分別するために、ZOOM ID は別にして、広報案内を行う。広報時期は、チーム研修会の広報と同時期に行う。メーリングリストでの発信を予定。 <u>SG2:西本</u> 2024 年度緩和ケアフォローアップ研修について 令和6年 12 月7日 (土) 10:00～12:00 開催 参加者 (17名) へ受講決定メールを送信する準備を行っている。 講義内容:①「緩和的放射線治療」講師は神戸市立医療センター中央病院放射線科医師 ②「看取りのエビデンス」講師は西本先生 オブザーバー参加:坂下先生 ◎令和7年度主幹施設を募る。 <u>SG3:西澤</u> 2024年度緩和ケアチーム研修会について 令和 7 年 2 月 9 日 (日) 9:00-11:20 開催 講演テーマ:「高齢者の意思決定支援」講師は有馬温泉病院 老年看護専門看護師 西山みどり先生 研修会の案内状が、がん診療連携協議会事務局にて決済すみのため、近日中に部会全体にメール配信を予定している。応募方法は Google フォームを使用。 当日は、PDCA に確保できる時間が60分と例年よりも時間が短い。 ⇒研修会までに各施設の PDCA サイクルを完成させておく。施設間のピアレビューでは話し合いたいことを絞ってディスカッションすることを推奨する。 研修会後のアンケートは内容を事前に配信し、次年度のテーマの希望も含めて記入できるように準備しておく。 ◎令和7年度主幹施設:北播磨総合医療センター ◎令和8年度主幹施設を募る。 <u>SG4:堀</u> 今年度のピアレビューについての報告 A 日程:10 月30日 (水) 午後に終了した。受講施設は神戸市立西神戸医療センター 事務局は関西労災病院が担当した。現在報告書を作成中。		

B 日程：12月4日(水)午後 受講施設は県立はりま姫路医療センター
事務局は兵庫医科大学病院

◎令和7年度協力施設(受審・レビュー)を募る。

SG5:福永

1) インターベンション治療についてのアンケートが終了し、HP を更新している。

*兵庫県がん診療連携協議会 HP

「症状緩和のための専門的治療施設一覧」 <https://www.hyogo-ganshinryo.jp>

概要一覧から、◎の治療に関しては各施設の HP に移動できる。

年明けに緩和ケア部会のメーリングリストで、自施設の HP のリンク設置の希望を確認し、3月に HP を更新する予定としている。

◎公開している治療内容の変更がある場合は、福永先生または濱中先生へ連絡する。

2) 「難治性がん性疼痛緩和指導管理加算」に関して

放射線治療および神経ブロックをがん患者に提供できる体制についての院内掲示に関して姫路赤十字病院福永先生より資料を作成いただき、メーリングリストで共有いただいた。内容を改変し、各施設で使用することを許可いただいた。

*現在のところ、難治性がん性疼痛緩和指導管理加算を算定している病院はない。

2. 次年度の活動について

坂下先生より

①部会の開催回数について

兵庫県内の活動共有を目的に緩和ケア部会を1年に4回開催しているが、次年度以降の開催回数について意見をいただきたい。

⇒西本先生:SG の取り組みについての共有が中心で、新しい議題がでていないため、1年に3回開催とし、議題等があればメーリングリストで共有とするのはどうか。

⇒乾:西本先生と同意見。

⇒1年に3回開催で本日の出席者の大多数から同意をいただく。

◎次年度は1年に3回開催で検討する。(5月または6月、中間報告、2月)

第4回緩和ケア部会で最終の承認を得て、4月がん診療連携協議会で令和7年度の緩和ケア部会の計画を発表し、1年に3回開催で承認を得る。

②SG活動について

SG1-5の5つのグループに分かれ活動を行っている。(兵庫県のがん対策の政策に合わせてSG1-4、がん診療連携拠点病院の指定要件に関連してSG5)

次年度に向けて活動内容の変更や新たな活動についての意見を伺いたい。

各SGリーダーより

SG1 吉村先生:指導者の会の開催について兵庫県へ報告を行う必要があり、SGで担っていくことが良いと考えるため、SG1の活動を継続する。

SG2 西本先生:フォローアップ研修会は、厚労省から県へ委託されている。規模は大阪府等と比較すると小さいが、今のSGのメンバーで継続するのであれば、このままの規

	模で良いと考え、<u>SG2 の活動を継続する。</u> *医師会への広報も必要であったか？（西本先生） ⇒医師会と緩和ケア部会の繋がりがいないため、事務局から県医師会への広報を依頼することとなる。（坂下先生） <u>SG3 西澤先生</u>:チーム研修会の目的が、参加施設の交流も含まれるため、継続が良いのではないかと考える。PDCA についても、不要ではないかという意見もあるが、今の形で続けながら方法等を模索していきたい。<u>SG3 での活動を継続する。</u> <u>SG4 堀先生</u>:ピアレビューは 3 年目になる。形はいろいろな意見を得てできつつある。今後も参加・協力施設を増やして引き継いでいくことが必要と考える。<u>SG4での活動を継続する。</u> <u>SG5 福永先生</u>:インターベンショナルは 3 年目となり形はできてきた。ただ、地域の先生方にどれだけ活用いただけているのかと思うことはあり、いつまで活動を続けていくか考えるところである。今年度は患者向けの取り組みをはじめたため、次年度も <u>SG5 での活動を継続する。</u> ⇒坂下先生より、県全体で情報を発信していくことは意義のある活動だと考えている。今後部会として継続していくか、SG として継続していくかも検討はしていきたいが、次年度は継続頂きたい。県として、患者・家族に利益を届けられるように広報していく必要はある。 ⇒西本先生より、京都府でも京都府立医科大学病院が中心となり神経ブロックの情報発信を行っているが、兵庫県は県としての取り組みであり、意義のある活動で継続頂きたい。 3.その他 坂下先生より ◎次年度に向けての活動についてご意見があれば、ML へ意見を頂きたい。 ◎次年度のグループ編成を検討する上で、グループ移動の希望があれば、第 4 回の会議までに坂下先生へ連絡頂く。 ◎以下募っていく。希望があれば、坂下先生または ML で連絡を頂く。 ・緩和ケアフォローアップ研修:令和7年度主幹施設 ・緩和ケアチーム研修会:令和8年度主幹施設 ・ピアレビュー:令和7年度協力施設(受審・レビューワー)
次回開催予定	令和7年2月 27日(木)14 時 00～
決定事項	1)
運営事務局での調整が必要な事項	
SG での検討を求める事項	◎SG リーダーの先生方へ 今年度の PDCA の Do と Act をグループ内で検討いただく。 最終的に第 4 回緩和ケア部会で完成の予定とする。

令和 6 年度 第 4 回 緩和ケア部会議事録

日 時	令和 7 年 2 月 27 日 (木) 14:00～14:45	場 所	Zoom 会議
出席者	30 施設、40 名		
主な内容	1. 緩和ケア部会の小集団活動について <u>SG1 吉村先生:緩和ケア研修会</u> 2月9日に指導者の会を開催した。出席した施設は、開催施設の半数程度であった。PEACE 研修会を開催する上での困りごとはいくつかあったが、PEACE 研修会開催に慣れてきている施設が多く、研修会を開催する上での問題点はすでに解決済みであることが窺えた。受講者の内訳をみても、研修医・メディカルスタッフ、地域の看護師・薬剤師の受講が増えており、本来の PEACE 研修会の趣旨である対象者は受講を修了していると考ええる。 次年度の指導者の会の開催方法については、働き方改革のこともあるため、メーリングリストでの報告としても良いのではないかと。全体で検討いただきたい。 <u>◎坂下先生より</u> 指導者の会に関しては終了しても良いと考えるが、緩和ケア研修会の担当部門としては残しておき、どのような形態で活動していくかは検討していきたい。 <u>SG2 西本先生:緩和ケアフォローアップ研修会</u> 令和6年12月7日(土)に研修会を開催し、14名の参加があった。 (詳細は、2/27送付の実施報告書参照) 次年度は市立伊丹病院と近畿中央病院が主幹で実施する予定としている。 <u>SG3 西澤先生:緩和ケアチーム研修会</u> <u>吉住看護師より</u> 2月9日に開催した緩和ケアチーム研修会は、講演と PDCA の二本立てで、参加は25施設、参加者は 60-70 名であった。 問題点としては、研修会のアナウンスを行ったが、院内での共有ができておらず、事務方・緩和ケア部会メンバーから実働の緩和ケアチームへ通達されていない施設があった。そのため、研修会のアナウンスを3回行うこととなった。 <u>西澤先生より</u> 開催形式について、平日・休日のどちらで開催するかなどを SG で検討し、次年度の1回目に提案させていただく。 <u>◎坂下先生より</u> 施設内での情報共有については幹事会でも問題提起している。緩和ケア部会だけでなく、他の部会も同じような状況であるため、施設内での情報共有・連携に協力を頂きたい。 また、研修会の開催について、できる限り時間外の活動を減らしていく方向で進めていきたいと考えているため、皆様のご理解とご協力をお願いしたい。		

SG4 堀先生：緩和ケアチームピアレビュー

今年度は、西神戸医療センター・県立はりま姫路医療センターにピアレビューを受審いただいた。また、ピアレビューのマニュアルについても、微調整を終えている。

次年度は、今まで開催したピアレビューを振り返り、受審施設へのアンケート調査等でアウトカム評価を行う予定。(7月頃まで) また、次年度のピアレビューは1施設のみの開催とし、県立西宮病院に受審頂く予定。(10～12月)

ピアレビューに関して、第30回日本緩和医療学会で発表を予定している。(堀先生)

◎坂下先生より

次年度、ピアレビューの受審を希望される場合は相談してほしい。

SG5 福永先生・濱中先生

今年度も引き続きインターベンショナル治療のアンケートが終了している。HPで公開をしている。新規に7施設がホームページのリンクを希望されている。現状では、1施設のみリンクを報告されており、他の施設からの連絡を待つ作業する予定。

また、日赤病院で患者向け資料を作成したため、患者さんへの公報で活用していただきたい。

次年度は、現在の取り組みによる地域連携での効果を評価することを検討している。アンケートに項目を追加する予定としているため、地域の先生方からの反応などを教えていただきたい。

2. 令和6年度緩和ケア部会 PDCA サイクルについて

今年度のPDCAの実施・改善内容を記載いただいた。内容を確認し、令和7年度の活動目標等を記載するため、各SGで実施計画を検討いただきたい。期日は、次年度の第1回目の会議(5月22日)までとする。

令和6年度PDCAは、4月の連携協議会と次年度の幹事会へも提出させていただく。

3. 次年度の活動について

令和6年度の活動報告・令和7年度の活動計画について、2月13日に兵庫県がん診療連携協議会幹事会で報告を行った。(詳細:【緩和ケア部会】R6活動報告・R7計画・O227資料参照)

令和7年度緩和ケア部会の活動計画について

①緩和ケア部会の会議は年3回第4木曜日の14時からを予定している(5/22、9/25、R8/1/22)。部会の時期については、連携協議会・幹事会の開催時期に合わせて設定している。第3回は、例年より早い1/22の開催としているため、1月中にSGの活動を報告できるようにしていただきたい。

②運営事務局会議は、現在毎月開催としているが、次年度は隔月(偶数月)での開催予定とする。

③各小集団活動については、SG1 緩和ケア研修会に関する検討会の開催(Web)、SG2 緩和ケアフォローアップ研修会の開催(Web)、SG3 緩和ケアチーム研修会の開催(Web)、SG4 緩和ケアチームピアレビューの開催(Web)、SG5 症状緩和のための専門的治療体制に関する実態調査を予定している。

	④都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会 坂下先生出席 *次年度研修会等の担当いただくご施設の方にはご負担をかけることとなりますが、何か支援が必要な際には、メーリングリスト等でご連絡ください。 3. その他 ①次年度の SG について 現在6名のリーダーの先生方をお願いしてグループを担当いただいている。次年度もグループ数は変更せずに継続してすすめる予定としている。 ここ2年間、グループ自体は大きく変更していないが、次年度に向けて SG の希望を第2希望まで Google フォームでお聞かせいただきたい。ただし、次年度当番施設にあたっている場合は、担当される SG でお願いしたい。希望をみながら、グループ編成を考えていく。 またリーダーの希望についての項目を追加するため、希望される方はぜひチェックを入れていただきたい。希望がなければ、現在の SG リーダーに継続いただく。 原則としては、国指定・県指定の拠点病院については、SG に参加いただく。準ずるご施設等に関しては、任意での参加になる。 兵庫県立こども病院については小児がんの拠点病院ではあるが、次年度 SG 活動を検討いただく。 ②R6 年度各施設の PDCA の提出について 2月 27 日が締め切りとなっているため、3月上旬までには提出いただき、4月に公開とする。事務局の小林様までメールにてお送りいただくようお願いしたい。 ③部会員の交替について 次年度、部会員の交替がある施設は、早めに連絡をいただきたい。事務局からも部会員の交替についての連絡が入る予定。 *今年度最後の部会となるが、何かご意見やコメントがありましたら、メーリングリストで投稿ください。
次回開催予定	令和7年5月 22 日(木) 14 時 00～
決定事項	1) 次年度の SG の希望について Google フォームに SG の希望、リーダーの希望を入力いただく。
運営事務局での調整が必要な事項	なし
SG での検討を求める事項	◎令和7年度緩和ケア部会 PDCA について 坂下先生より活動目標等の提示があるため、各 SG で実施計画を検討いただく。 期日は、次年度の第1回目の会議(5月22日)までとする。

令和 6 年度 PEACE 指導者の会 議事録

日 時	令和 7 年 2 月 9 日(日) 11:30~12:30	場 所	Zoom 会議
出席者	14 施設、19 名		
主な内容	司会：姫路医療センター 吉村 書記：はりま姫路総合医療センター 久理田・北山 ■緩和ケア研修会を開催している中で、困っていることや共有したいこと (加古川市立中央市民病院：西澤) 患者会について各施設で工夫されていることなど共有出来ればと思う。 (尼崎総合医療センター：河田) 開催の悩みにおいて事前準備の段階で物品の確保に問題が生じたことがあった。院内で開催日を通知していたが、他の予定と重なった部分があった。働き方改革として平日の午後などに会議を開催していただけると助かる (尼崎総合医療センター：坂井) 研修医が多く、地域連携の分野のディスカッションにおいてどう地域につなぐかという部分がディスカッションしづらい。 (公立豊岡病院：義本) 初期研修医が主となり参加するが年配医師の受講率が低いいため参加出来る工夫があれば考える。 (神戸中央市民病院：西本) がん診療連携拠点病院を維持するために受講してもらえないといけなことをアピールし、分散させながら受講するのはどうか。 (姫路赤十字病院：福永) 組織上必要として、院長命令でと声をかける方がかけやすいかもしれない。 (JCHO 神戸中央病院：三田) 開催後のポストアンケートを記入出来ていない医師があり支援しながらの対応となった。事前告知はしていたが、難渋した。個人的には会議は、休日開催の方が記載しやすい。 (県立がんセンター：丸中) 研修医が少なく、近隣の医師と当院医師が参加するが、地域の薬剤師や看護師などが参加。参加者は 10 人ほどとなる。講師の労力を考えると少人数でも開催した方がいいのか悩む。⇒研修医が主となるため研修医が少ないと人が集まらない現状がある。 (西神戸医療センター：安藤) 当院は、業務扱いとし、院長命令として受講した。 (神戸医療センター：宮崎) 参加者に関しては他施設と同じで、1 年目 2 年目の初期研修医が中心となっている。出来れば看護師などの多職種も募集したい。 (近畿中央病院：合屋) 3 年ぶりにオンサイトで開催したが、スタッフの入れ替わりもなく困ったことはなかった。指導者の会は問題ないが、緩和ケアチーム研修会についてはパソコン 1 台であるので病院に集合する必要があるため、数台のパソコンから ZOOM 参加できるようにしてほしい。 (神戸中央市民病院：西本) 台風時期と重なったがなんとかオンサイト開催できた。しかし参加する意味を理解出来ていないのか、当日キャンセルなどが数名あった。患者の声に		

	については、患者会などのアクセス方法を提示したり、緩和ケアセンターの看護師が患者の意見を代弁するなどしている。緩和ケア研修会の参加をきっかけに、緩和ケア内科ヘロートする研修医が増えた。会議に関しては働き方改革としては平日の勤務内がありがたい。 （姫路医療センター：丸田）開催について問題はなかったが、参加が研修医ばかりでディスカッションが少し空虚に感じた。 （姫路赤十字病院：福永）中堅クラスの医師も参加があるが、地域連携の研修のところで、院内の緩和ケアリンクナースを育成する目的で看護師に参加してもらっている。その参加方法については、もう少し多職種の参加が有意義となるように工夫したい。 （県立加古川医療センター：田中）全体の受講率が60～70%となっており、もう少し参加を呼びかける工夫が必要と考えている。昨年から研修への参加が業務の位置づけとなったため、他のコメディカルも参加できるようになり多様なディスカッションができるようになった。失敗として講師の日程調整を行っていたが、開催日と受講生へ違う日程を伝えており、講師の日程調整をご協力いただくことがあった。事務担当が総務課と医事課で違っていたため気づけなかった。日程の案内は、注意が必要。緩和ケアチーム研修会は半日のために出勤する必要があり、平日の方が参加しやすい。 （北播磨医療センター：山名）ほぼ1年目の研修医が参加、その他は、コメディカルが参加した。ディスカッションについては未経験なことも多く内容を絞って対応する必要性を感じた。講師が体調不良で当日来院出来ず Zoom 対応した。緩和ケアチーム研修会は雪などで交通状況が不安ではあった。 （関西労災病院：堀）1, 2年目の研修医のみがほぼ参加。研修医は救急担当も兼ねており、1日全員参加とする日程調整が難しかった。5月、6月では知識的に不十分であり、もう少し経験を積んだ後の日程の方がいいのかと考えた。緩和ケアチーム研修会はパソコン1台ずつでない、ZOOMの許容が難しいということなら、PC台数が多くても大丈夫なZOOMの体制に変更もよいと考える。 （県立はりま姫路総合医療センター：坂下）全国的な動きは分からないが、臨床研修施設では、初期研修医が対象になり開催されている状況が多い。県立がんセンターは特殊なケースであるため、今後の開催については、県とご相談いただき、近隣施設と協働開催するか、1年おきに開催するかなど対応について検討いただくのも一つと考える。現在のPEACE研修の中身が参加者の現状とあわず、研修医向けの内容に変更することは今後必要だろう。当院は、ポストアンケートに関しては毎年ログイン出来ない方がいるため、事前にアナウンスをしているが、当日完了できない参加者もいる。対策は準備する事務と相談が必要だろう。募集において参加者が満たない場合については、参加者募集についてメーリングで共有することもよい。当院でも毎年同じ企画責任者よりは、担当を変えて開催していくとも考えている。
伝達事項	次年度の開催予定が決定していれば2月27日の緩和ケア部会会議までに事務局へ連絡をしてください。（4月のHPで案内予定）

2024年度 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 開催状況（2025.2.1時点）

開催日	主催病院	定員	コメディカル の募集	問い合わせ先			備考 締切・開催形式(WEB/集合)等
				電話番号	事務担当	企画責任者	
7月9日(日)	神戸大学医学部附属病院	30名 程度	未定	078-382-5111	腫瘍センター 新森	山口 崇	開催形式：WEB、院外募集 若干名 （初期研修医は2年目以降対象、 募集締切後に受講決定）
7月20日(土)	県立丹波医療センター	12名	有り	0795-88-5200	総務課 藤本 哲	板倉 崇泰	開催形式：集合 院外募集 有り
7月28日(日)	県立がんセンター	最大 18名	有り	078-929-1151	総務課 小林	丸中 淳	開催形式：集合 院外募集 有り 初期研修医は2年目以降対象
8月31日(土)	神戸市立医療センター 中央市民病院	24名 場合により 30名まで	若干名 ※備考欄 参照	078-302-4321	地域医療推進課	西本 哲郎	開催形式：集合 ※ コメディカルの方はロールプレイには傍 聴者として参加、事例検討のグループワー クには参加いただきます
9月14日(土)	姫路医療センター	15名	有り	079-225-3211	がん相談支援室 間庭	丸田 力	開催形式：集合
9月29日(日)	神戸大学医学部附属病院	30名 程度	未定	078-382-5111	腫瘍センター 新森	伊藤 まどか	開催形式：WEB、院外募集 若干名 （初期研修医は2年目以降対象、 募集締切後に受講決定）
9月29日(日)	近畿中央病院	24名 予定	有り	072-781-3712	企画課 診療支援係 牧野 友美	合屋 将	開催形式：集合
10月5日(土)	神鋼記念病院	24名	無し	078-261-6711 （代表）	地域医療連携室 山田	山川 宣	開催形式：集合（予定） 院外募集 若干名
10月5日(土)	県立はりま姫路 総合医療センター	36名	有り	079-289-5080	総務課 蔭木	坂下 明大	開催形式：集合 院外募集 有り
10月6日(日)	神戸市立 西神戸医療センター	24名	有り	078-997-2200	地域医療課 江良 朝香	安藤 俊弘	開催形式：集合（予定）
10月20日(日)	北播磨総合医療センター	24名	若干名	0794-88-8800	患者総合サポートセンター 井谷・安川	山名 順子	開催形式：集合
10月20日(日)	宝塚市立病院	18名	無し	0797-87-1161	経営統括部 吉野・藤森	野間 秀樹 奥本 龍夫	開催形式：集合
10月27日(日)	赤穂市民病院	12名	有り	0791-43-3222	地域医療室 木村 泰延	久保川 修	開催形式：集合
11月2日(土)	明和病院	13名	有り	0798-47-1767	総務課 中川 晃	柳 秀憲	開催形式：集合 院内職員のみ募集
11月3日(日)	加古川中央市民病院	18名	有り	079-451-5500 （代表）	緩和ケアセンター 福富 奈緒美	西澤 昭彦	開催形式：集合 院外から受講可
11月9日(土)	兵庫医科大学病院	30名	検討中	0798-45-6611	管理課 田坂 果穂	廣瀬 宗孝	開催形式：集合
11月10日(日)	関西労災病院	18名	無し	06-6416-1221	医事課 松本	堀 謙輔	開催形式：集合 （感染状況により変更の場合有り） 院外募集 有り
11月16日(土)	神戸市立医療センター 西市民病院	20名 程度	有り	078-576-5251	総務課 三富	姜 貴嗣	開催形式：集合（予定）
11月23日 （土・祝）	神戸大学医学部附属病院	30名 程度	未定	078-382-5111	腫瘍センター 新森	山口 崇	開催形式：WEB、院外募集 若干名 （初期研修医は2年目以降対象、 募集締め切り後に受講決定）
11月23日 （土・祝）	姫路赤十字病院	24名	無し	079-294-2251	がん診療連携課 井上・安東	福永 智栄	開催形式：集合
11月23日 （土・祝）	県立淡路医療センター	24名	若干名	0799-22-1200	がん相談支援センター 十川 ゆかり	堂國 良太	開催形式：集合 院外募集 若干名
11月23日 （土・祝）	県立西宮病院	15名	若干名	0798-34-5151	総務課 大森 遼平	福永 睦	開催形式：集合 院外から受講可 初期研修医は2年目以降対象
11月30日(土)	県立尼崎総合 医療センター	30名	有り	06-6480-7000	経営企画部医事課 長田 拓也	河田 岳人	院外募集 有り
12月8日(日)	JCHO神戸中央病院	12名	有り	078-594-2211 （病院代表）	総務企画課	三田 礼子	開催形式：WEB 感染状況により集合となる可能性有
12月14日(土)	県立加古川医療センター	18名	有り	079-497-7000 （代表）	総務課 高見 新之介	田中 祐子	開催形式：集合 院外募集 若干名

2025年

開催日	主催病院	定員	コメディカル の募集	問い合わせ先			備考 締切・開催形式(WEB/集合)等
				電話番号	事務担当	企画責任者	
2月15日(土)	神戸医療センター	医師21名 (医師以外 若干名)	有り (若干名)	078-791-0111	地域医療連携室 宮嶋 邦幸	宮崎 博之	開催形式：集合
2月15日(土)	西宮市立中央病院	18名	有り	0798-64-1515 （内線614）	総務課 高森 智恵子	藤江 裕二郎	院外から参加可
2月16日(日)	市立伊丹病院	24名	有り	072-777-3118	総務課 中塚 敬之	（未定）	開催形式：集合 院内のみの募集
3月9日(日)	公立豊岡病院	18名	有り	0796-22-6111	（未定）	（未定）	院外から受講可
3月15日(土)	市立芦屋病院	30名 程度	有り	0797-31-2156	地域連携室 岡野	石丸 紗也佳 武田 亜衣	開催形式：集合 院外から受講可 （初期研修医1年目 受講可能）

2025年度 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 予定表（2025.4.10 現在）

開催日	主催病院	定員	コメディカルの募集	問い合わせ先			備考 締切・開催形式(WEB/集合)等
				電話番号	事務担当	企画責任者	
8月30日(土)	神戸市立医療センター 中央市民病院	30名	若干名 ※備考欄 参照	078-302-4321	地域医療推進課	西本 哲郎	開催形式：集合 ※コメディカルの方はロールプレイ には傍聴者として参加いただき、事 例検討などのグループワークには 実際に参加していただきます
9月13日(土)	姫路医療センター	15名	有り	079-225-3211	がん相談支援室 間庭	丸田 力	開催形式：集合
9月28日(日)	近畿中央病院	24名 予定	有り	072-781-3712	企画課 診療支援係 牧野 友美	合屋 将	開催形式：集合
10月4日(土)	神鋼記念病院	24名	無し	078-261-6711 (代表)	地域医療連携室 山田	山川 宣	開催形式：集合(予定) 院外募集 若干名
10月4日(土)	県立はりま姫路 総合医療センター	36名	有り	079-289-5080	総務課 蔭木 憲志	木村 洋平	開催形式：集合
10月5日(日)	神戸市立 西神戸医療センター	18名	有り	078-997-2200	地域医療課 江良	安藤 俊弘	開催形式：集合
10月5日(日)	赤穂市民病院	12名	有り	0791-43-3222	地域医療室 木村 泰延	久保川 修	開催形式：集合 詳細については赤穂市民病院 ホームページをご参照ください
10月19日(日)	宝塚市立病院	18名	無し	0797-87-1161	経営統括部 吉野	野間 秀樹 奥本 龍夫	開催形式：集合 締切：7月31日(木) 定員に達し次第締め切り
10月26日(日)	北播磨総合 医療センター	21名	有り	0794-88-8800	患者総合サポートセンター 井谷・安川	山名 順子	開催形式：集合 院外からの受講可
11月1日(土)	兵庫医科大学病院	30名	無し	0798-45-6611	管理課 白神 知佳	廣瀬 宗孝	開催形式：集合 院外から受講可
11月2日(日)	加古川中央市民病院	18名	有り	079-451-5500 (代表)	緩和ケアセンター 福富 奈緒美	西澤 昭彦	締切：8月31日 開催形式：集合 院外から受講可
11月22日(土)	姫路赤十字病院	24名	無し	079-294-2251	がん診療連携課 井上・安東	福永 智栄	開催形式：集合
11月22日(土)	県立西宮病院	15名	若干名 (要問合せ)	0798-34-5151	総務課 大森 遼平	福永 睦	開催形式：集合 院外から受講可 初期研修医は2年目以降対象
11月22日(土)	神戸市立医療センター 西市民病院	20名 程度	有り	078-576-5251	総務課経理係 西岡	姜 貴嗣	開催形式：集合(予定)
11月29日(土)	県立尼崎総合 医療センター	30名	有り	06-6480-7000	経営企画課	河田 岳人	開催形式：集合
12月7日(日)	JCHO神戸中央病院	12名	有り	078-594-2211 (病院代表)	総務企画課 高橋	三田 礼子	開催形式：集合 (感染状況によりWeb) 院外募集 有り 初期研修医は2年目以降対象
(調整中)	県立加古川 医療センター	18名	有り	079-497-7000 (代表)	総務課	田中 祐子	開催形式：集合 院外募集 若干名

2026年

開催日	主催病院	定員	コメディカルの募集	問い合わせ先			備考 締切・開催形式(WEB/集合)等
				電話番号	事務担当	企画責任者	
1月25日(日)	市立伊丹病院	24名	有り	072-777-3118	総務課 中塚 敬之	三好 崇文	開催形式：集合 院外からの受講可
2月14日(土)	神戸医療センター	医師21名 (医師以外 若干名)	有り (若干名)	078-791-0111	地域医療連携室 中村 洋貴	宮崎 博之	開催形式：集合
3月8日(日)	公立豊岡病院	18名	無し	0796-22-6111	管理課	(未定)	開催形式：集合 院外からの受講可
3月14日(土)	市立芦屋病院	30名 程度	有り	0797-31-2156	地域連携室 岡野	石丸 紗也佳 武田 亜衣	開催形式：集合 院外から受講可 初期研修医1年目 受講可能

※ 上記研修会は状況により中止、変更等の可能性もあります。詳細は各施設にお問い合わせ下さい。

令和 6 年度 兵庫県緩和ケアフォローアップ研修会 実施報告書

令和 6 年度 兵庫県緩和ケアフォローアップ研修会 開催議事録

司会	医療法人信和会 明和病院 泉田 日奈子 看護師	
講師	神戸市立医療センター中央市民病院 放射線治療科 小久保 結未 先生 緩和ケア内科 西本 哲郎 先生	
参加スタッフ (順不同) (敬称略)	近畿中央病院 市立伊丹病院 神戸市立医療センター中央市民病院 西脇市立西脇病院 明和病院 兵庫県立はりま姫路総合医療センター 合屋 将 三浦 純子 西本 哲郎 藤本 有紀 泉田 日奈子 坂下 明大 (オブザーバー)	
開催方式	Web (Zoom)	
応募人数	18 名 (参加 14 名、事前不参加 3 名、当日欠席 1 名)	
プログラム		
		内容
10:00	開会の挨拶	
10:05	講義 1 緩和的放射線治療の 基本	講師：小久保 結未 先生 内容：放射線治療の原理、緩和的放射線治療の適応 と合併症、実際の症例について 形式：スクール形式での講義
10:57	休憩	
11:02	講義 2 看取りの作法とエビ デンス	講師：西本 哲郎 先生 内容：死亡確認時に医師が注意すべき点について海 外及び日本の文献を紹介、動画を聴講、看取りに関 するお困り事などについてグループワーク 形式：スクール形式での講義＋グループワーク
12:00	閉会の挨拶	
12:05	スタッフ振り返り	・ブレイクアウトルーム利用時の残り時間の表示に工夫が 必要であった ・当日欠席者（連絡無し）が 1 名あった以外は特にはトラ ブルなく開催を終了することができた。

2024 年度 第 15 回兵庫県緩和ケアチーム研修会 報告書

日 時	令和 7 年 2 月 9 日(日)9 時～11 時 20 分	場 所	Zoom
担当 講師	運営) 兵庫県立尼崎総合医療センター 講師) 医療法人甲風会 有馬温泉病院 看護部長 老年看護専門看護師 西山 みどり先生		
主な内容	研修会テーマ:「高齢者の意思決定支援」 司会:兵庫県立尼崎総合医療センター 看護部 吉住 智奈美 参加施設:25 病院 各施設:1～6 名 参加者:77 名 9 時 00 分～9 時 05 分 開会の挨拶 緩和ケア部会長 兵庫県立はりま姫路 総合医療センター 緩和ケアセンター長 坂下 明大先生 9 時 05 分～10 時 05 分 講演: 医療法人甲風会 有馬温泉病院 看護部長 老年看護専門看護師 西山 みどり先生 「高齢者の意思決定支援～ご本人に参画してもらうために～」 10 時 15 分～11 時 15 分 ・兵庫県立はりま姫路 総合医療センター 緩和ケアセンター長 坂下 明大先生 「PDCA サイクル」 ・PDCA サイクルの講義 ・自施設の PDCA サイクルについてグループディスカッション ・以下の 1G に 2～3 施設の 9 グループに分かれてピアレビューを実施した ① 公立豊岡病院 近畿中央病院 県立西宮病院 ② 県立丹波医療センター 姫路赤十字病院 明和病院 ③ 赤穂市民病院 県立がんセンター 関西労災病院 ④ 市立伊丹病院 県立はりま姫路医療センター 市立芦屋病院 ⑤ 県立尼崎総合医療センター 姫路医療センター 市立西脇病院 ⑥ 県立淡路医療センター 加古川中央市民病院 宝塚市立病院 ⑦ 兵庫医科大学病院 神戸市立西神戸医療センター 県立粒子線医療センター ⑧ 神戸市立医療センター中央市民病院 県立加古川医療センター ⑨ 北播磨総合医療センター JCHO 神戸中央病院 11 時 15 分～11 時 20 分 閉会の挨拶:兵庫県立尼崎総合医療センター 看護部 吉住 智奈美		

令和 6 年度 第 1 回兵庫県緩和ケアチームピアレビュー 報告書

日 時	令和6年10月30日(水) 13 時 30 分～16 時 30 分	場所	Zoom 会議
対象施設	神戸市立西神戸医療センター病院		
レビューアー	兵庫県立がんセンター 関西労災病院(事務局)		
参加者	司会:関西労災病院 堀 対象施設参加者: 緩和ケアチーム 安藤医師、中村看護師、山崎薬剤師、三浦栄養士 診療科医師 徳重医師 病棟看護師 竹崎看護師 レビューアー: 兵庫県立がんセンター 木村医師 兵庫県立がんセンター 西村看護師 関西労災病院 堀 オブザーバー: 兵庫県立はりま姫路総合医療センター 坂下医師 兵庫県立丹波医療センター 板倉医師 事務局: 関西労災病院 医事課 松本		
プログラム	13:30-13:50 レビューアー事前ミーティング 14:00-14:15 I.導入 参加者自己紹介スケジュール概要とレビュー方法について情報共有 14:15-14:45 II.ヒアリング 困りごとの内容に応じて、一般看護師や一般診療医、緩和ケアチームメンバーへのヒアリング 14:55-15:25 III.レビューアー会議 レビューアーの意見集約 15:30-16:00 IV.まとめ 緩和ケアチームメンバーとレビューアーで総括 16:00-16:30 V. レビュー方法の振り返り		

令和 6 年度 第 2 回兵庫県緩和ケアチームピアレビュー 報告書

日 時	令和 6 年 12 月 4 日(水) 13 時 30 分～16 時 30 分	場所	Zoom 会議
対象施設	兵庫県立はりま姫路総合医療センター		
レビューア	兵庫県立西宮病院 明和病院		
参加者	司会: 兵庫医科大学病院 乾看護師 進行: 神戸市立中央病院 西本医師、兵庫医科大学病院 乾看護師 対象施設参加者: 緩和ケアチーム 坂下医師、北山看護師、岡野薬剤師 診療科医師 岡田医師 病棟看護師 大澤看護師 レビューア: 兵庫県立西宮病院 福永医師・植田医師 明和病院 泉田看護師 サポート: 神戸市立中央病院 西本医師 兵庫医科大学病院 乾看護師 オブザーバー: 関西労災病院 堀医師 兵庫県立丹波医療センター 板倉医師 神戸市立西神戸医療センター 安藤医師 神戸市立西神戸医療センター 中村看護師 兵庫県立がんセンター 丸中医師 事務局: 兵庫医科大学病院 管理課 丸尾		
プログラム	13:30-13:50 レビューア事前ミーティング 14:00-14:15 I.導入 参加者自己紹介スケジュール概要とレビュー方法について情報共有 14:15-14:45 II.ヒアリング 困りごとの内容に応じて、一般看護師や一般診療医、緩和ケアチームメンバーへのヒアリング 14:55-15:25 III.レビューア会議 レビューアの意見集約 15:30-16:00 IV.まとめ 緩和ケアチームメンバーとレビューアで総括 16:00-16:30 V. レビュー方法の振り返り		

兵庫県がん診療連携協議会「地域連携」部会関連

項 目	内 容
令和6年度の活動報告	○ がんパスの使用状況につき検討した。 令和6年3月末時点におけるアンケート調査を行い、令和5年度の登録件数は1485件、累計14,339件のパス利用があった。 累計の内訳は、乳がん 6,657件、胃がん 2,938件、大腸がん 2,179件、肺がん 1,401件、肝臓がん 118件、前立腺がん 1,014件、子宮体がん 32件。 ○ 各がんの地域連携パスを見直し、修正を進めた。 ○ がん診療における地域連携の現況について、令和6年3月末時点におけるアンケート調査を行った。 Webによる退院前カンファレンスについては、49施設中21施設が実施、令和5年度の実施件数は、集計不可等の回答施設を除き、485件であった。 遠隔診療については、49施設中4施設が実施、令和5年度の実施件数は167件であった。 がんゲノム診療については、49施設中41施設から回答を得られ、そのうちがん遺伝子パネル検査を実施した、もしくは実施している施設に患者を紹介した施設は、20施設であった。治療につながった症例数については、20施設中、15施設から回答を得られ、その率については、平均16%であった。
令和7年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ がんパスの各施設での導入・使用状況を各部会ごとに検討する。 ○ がん地域連携パスの運用上の問題点を抽出改訂し活用を図る。 ○ がん地域連携に関する問題点を抽出し対応を検討する。

《 令和 6 年度 P D C A サイクル実施計画・管理表 》

令和 7 年 3 月 末日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容（計画）
地 域 連 携 部 会	バス利用の施設間 格差の改善	バス利用に施設間格差あり バス利用の臓器間格差あり 利用上の課題がある	バス利用のアンケート調査施行 全ての施設でのバス利用を推進する 課題の抽出と改善	令和7年 3月	△	概ね 達成	がん地域連携バスの利用状況を アンケート調査した バス利用に臓器間格差があった	継続	アンケートを引き続き行いバス利用の 促進に努める
	バスの課題の抽出・ 改訂・活用	バスの課題の抽出と改訂の継続が 必要である 臨床研究への展開は少ない	課題を抽出しつつ、改訂可能なものは 改訂を進める バスの臨床研究への展開と活用	令和7年 3月	△	概ね 達成	内容を精査した 各WGで検討し改訂が必要である 場合は改訂を行った 一部、学会等で発表した	継続	引き続き精査する 改訂点があれば改訂作業を行う 臨床研究への活用を図る
	がん地域連携の 課題の共有と改善	がん地域連携の課題の抽出/共有/ 改善が十分できていない	アンケートなどで課題を抽出共有し、 可能なものは改善につなげる	令和7年 3月	△	概ね 達成	リモート連携は一部では行われている がんゲノム診療は、アンケートに答えた 施設で概ね良好であった	継続	引き続きアンケートを行い、がん地域 連携の課題を抽出し、共有し、改善 を目指す

（注）実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《 令和 7 年度 P D C A サイクル実施計画・管理表 》

令和 7 年 4 月 1 日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容（計画）
地 域 連 携 部 会	パス利用の施設間 格差の改善	パス利用に施設間格差あり パス利用の臓器間格差あり 利用上の課題がある	パス利用のアンケート調査施行 全ての施設でのパス利用を推進する 課題の抽出と改善	令和8年 3月					
	パスの課題の抽出・ 改訂・活用	パスの課題の抽出と改訂の継続が 必要である 臨床研究への展開は少ない	課題を抽出しつつ、改訂可能なものは 改訂を進める パスの臨床研究への展開と活用	令和8年 3月					
	がん地域連携の 課題の共有と改善	がん地域連携の課題の抽出/共有/ 改善が十分できていない	アンケートなどで課題を抽出共有し、 可能なものは改善につなげる	令和8年 3月					

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ 1 つ選んで記入する。

< 肝がん地域連携パスの改訂について >

◆「肝がんについて」のページ中、冒頭文を修正、及び治療についての記載を現在の診療実態に合わせて更新した

▶ 冒頭文：①

* ウイルス感染についての「約9割」→
「多くに」変更、「合併しています」を削除、
アルコール、脂肪肝についての記載を
含めて表現を修正（現行パスの文章 ↓）

肝がんの患者さんの約9割が、C型肝炎やB型肝炎とい
うウイルス感染を合併しています。さらに自己免疫、アル
コール、脂肪肝などが関与することもあります。そのため

▶ 1) 肝切除術：区分を追加 ②

▶ 2) 穿刺焼灼療法：「マイクロ波」を追加 ③

▶ 6) 全身化学療法：④

* 「化学療法」→「薬物療法」に変更

* 「抗癌剤」を削除

* 「免疫チェックポイント阻害薬」を追加

▶ 9) 経皮的肝灌流化学療法を削除

肝がんについて

① 肝がんの患者さんの多くにC型肝炎やB型肝炎とい
うウイルス感染、アルコール多飲、脂肪肝などがみられ、
さらに自己免疫などが関与することもあります。そのた
め、たいていの方が慢性肝炎や肝硬変といった病気を
併存しています。従って肝がんの治療に際しては、がん
と平行して平素から肝機能のチェックや注射、投薬が必
要となりますが、この日常の診療をかかりつけ医に行
っていただきます。

CT、MRIやエコーなどの肝がんの専門的な定期検
査は〇〇〇〇病院で受けていただきます。肝がんは治
療しても高率に再発する病気ですが、その時の肝機能
や肝硬変の程度を天秤にかけながら、がんの治療法を
考えていく必要があります。

CTなどで再発が見つかった場合は、〇〇〇〇病院
で腫瘍の大きさや場所と肝予備能を検討した上で、各
々に適した治療を受けていただきます。

肝がんの治療には以下のものがあります。

- 1) 肝切除術（開腹、腹腔鏡、ロボット）②
- 2) 穿刺焼灼療法（ラジオ波、マイクロ波）③
- 3) エタノール注入療法
- 4) 経肝動脈化学塞栓療法
- 5) 肝動注療法
- 6) 全身薬物療法（分子標的薬・免疫チェックポイント
阻害薬の内服／静注）④
- 7) 放射線・粒子線療法
- 8) 肝移植（脳死・生体）

それぞれの治療には適応基準があり、各患者さんの
肝予備能と腫瘍の状況を考え合わせながら、最善の治
療法を検討いたします。

なお、肝移植（脳死）は神戸大学病院、肝移植（生体）
は、神戸大学病院、神戸市立医療センター中央市民病
院において実施しています。